花とゆめCOMICS

花巡礼

河惣益巳 3



花とゆめCOMICS

花巡礼

3

河惣益巳



花とゆめCOMICS

花巡礼

第3巻

河惣益巳





この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません。

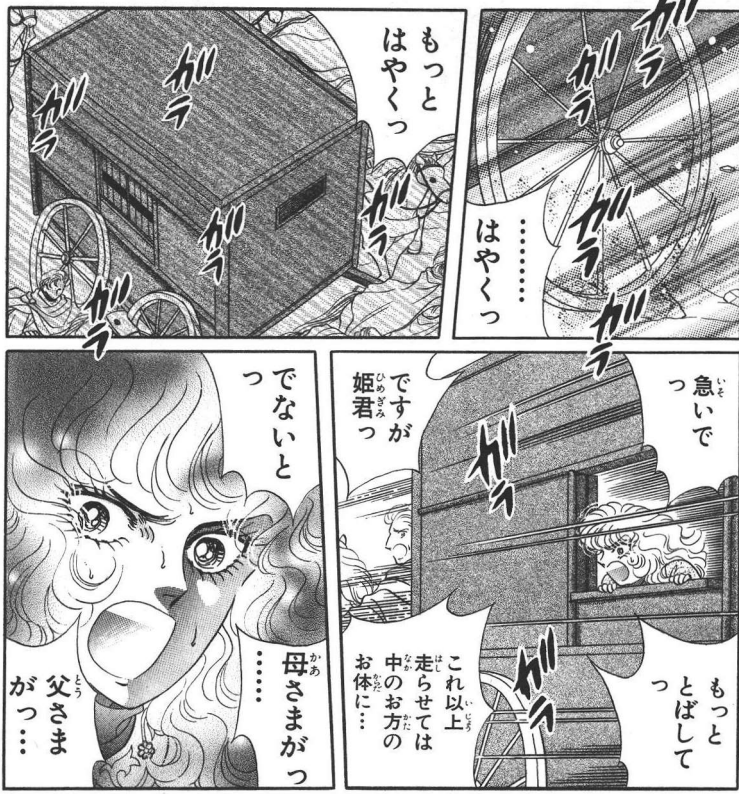
■目次

花巡礼（はなじゅんれい）―ブランシュ編（へん）―……5


花巡礼
はなじゅんれい
——ブランシュ編——

リチャードⅠ世の東方からの
帰路は困難を極めた
航海中の遭難
大陸通行の拒否
遂にはウィーン郊外にて
オーストリア公レオポルドに
捕えられドイツ皇帝フリードリヒ2世
に引き渡された
彼の釈放に英国が支払った
金額はケルン貨で15万マルク
純銀にして34トンという実に
法外なものであった

この支払いのツケは後に彼の
命を縮めることになる



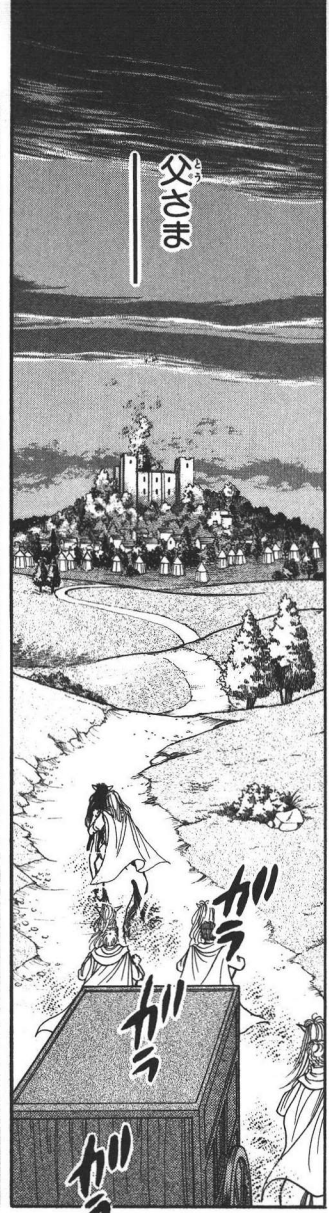
英国・プランタジネット朝
一一五四～一三九九
ノルマン朝の断絶で、フランスのアンジュー伯アンリ（征服王の曾孫）が英王ヘンリー2世となり創始。

「プランタジネット」の名はヘンリー2世の父ジョフロワがいつも出かける時帽子にエニシダの小枝を飾っていたためである。

三百年後、同じプランタジネット朝から分かれたランカスター家とヨーク家は王位を争い内乱を起こす。両家は紅バラと白バラを紋章としていたため「バラ戦争」と呼ばれ終決まで30年を要した。


おやめなさい
ブランシュ
だって
ガラ
ガラ
ガラ
そんなに無理を
言うものでは
ありませんよ
リドウィナ
お祖母さま
こちらへ
おいでなさい
2人して
ミレジーヌの
そばへ
……
いらっしゃい
ブランシュ
……
母さま…


母さま
母さま
母さま
……!!


父さま
ガラ
ガラ
ガラ


…母上…


なっ 何じゃ？
何じゃ!?
リチャード
ミレイとブランシュは…
どこに…
おおっ
もうすぐじゃぞえ！


よい 知らせじゃ！
こちらへ向う途中
ミレジーヌが
産気付いてな
男の子が生まれたそうな!!


今
その子ともども
ブランシュと
こちらへ
急いでおる！
もうすぐ故
がんばるのじゃ!!
リチャード！
男
…
そうか
…
やっと
後継ぎが
…
よか…
レニエ
！
どうにか
ならぬか
!?
とても
無理です!!
私の能力では
痛みを止めるのが
精一杯！
どうにも…
「運命」
までは…

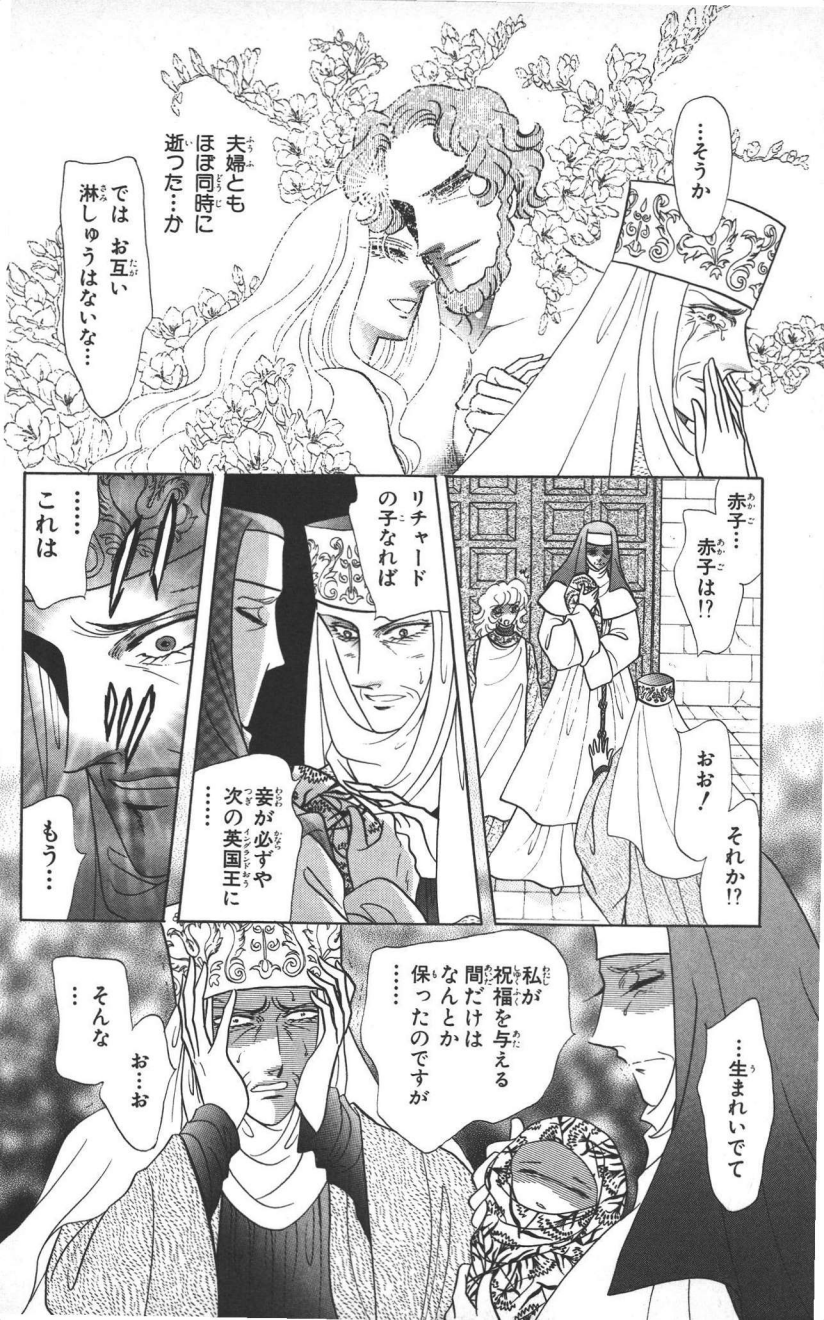

…母上
俺の心臓はルーアンの大聖堂へ
リチャード？
ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
身体はフォントヴローの大修道院へ
リチャード!?
お願いします
ガラ
ガラ
リチャ…


母さまとブランシュが着いたわよっ!!
父さまっ!父さま着いたわよっ!
父さまっ…
…父さまっ
ブランシュ様っ…
父さまはどこっ!?
こちらです姫君!!


アリエノール
お祖母さま
…
ブランシュ
…
遅かった
…
リチャードは
たった今…
父さま
!!
父さま
父さま
〜〜♡
ブランシュ
〜♡
…嘘
甘やかしちゃ
ダメ!!


嘘よっ！
父さまが死ぬはずないわっ!!
ブ…ブランシュ
父さまは英国の王様よ！
ノルマンディーとアンジューとアキテーヌの…フランス一の領主よ！
「獅子心王」と呼ばれたヨーロッパ一の騎士よ！
サラディンでさえかなわなかった十字軍の英雄よ!!


それがこんな田舎の
こんなちっちゃなお城の戦で死ぬなんて
そんなことありえないっ!!
そんなこと…嘘に決って…
……ブランシュ
おお!リドナ
アリエノール様…
ミレジーヌはいかがした!?
つい先程…
ここへ着いてすぐ……


…そうか
夫婦とも
ほぼ同時に
逝った…か
では お互い
淋しゅうはないな…
赤子…
赤子は!?
それか!?
おお!
リチャードの子なれば
妾が必ずや次の英国王に……
……これは
もう…
…生まれいでて
私が祝福を与える間だけは
なんとか保ったのですが……
お…お
そんな…



シャリュ（リモージュ西南）近郊の畑から農夫が純金の大きな祭壇の飾りつい立てを発見した。

正直者の農夫はこれを領主であるリモージュのエマール伯へ届けた。この話を聞きつけたリチャード1世は君主の立場からこの宝物を要求したが伯は拒否したためリチャードは怒り狂いシャリュ城を包囲した。

1199年3月25日リチャードの肩にささった矢は脊髄にまで達し、手術も芳しくなく一部が体内に残り4月10日母の腕の中で死んだ。享年41歳。

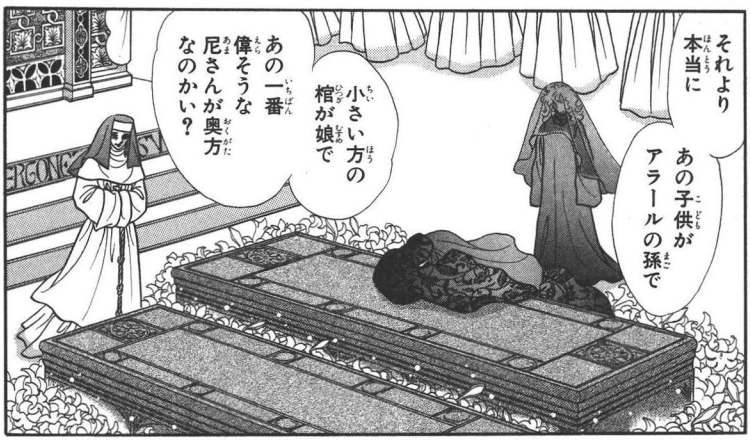

始終 兄・リチャードの
王位を狙い続けた
無節操な弟
そのせいで
リチャードは
聖地奪還を半ばで諦め
帰国の途につかねば
ならなかった
その途中
ドイツに捕って一年も捕虜に
なったし
あのジョンに
仏王フィリップ尊厳王と
渡り合えるだけの
才覚は到底ない
!!
おお…
終わりじゃ
…!
プランタジネット
王朝はこれで
しまいじゃ…!!
お祖母さま
お祖母さま
大丈夫よ
!
あたしが
いるわ!


ブランシュ…？
ブランシュがいるわ!!
父さまの代わりにお祖母さまを護るわ！
ブランシュブランシュブランシュ
リチャード……


…あれが英王リチャード一世の娘!?
聖地生まれのブランシュ姫!?
美しいが…なんともきつい御子じゃな
女子というに泣きもせぬ


第3次十字軍の折
アッコン奪回の日にお生まれの姫じゃ
ザワ…
ザワ…
リチャード陛下とアリエノール母太后がそれは可愛がられて
性情は獅子心王そのままというぞ
きついはずじゃ
カイルワーン？


フロリュス卿
どうしたね
こんな所に
君はあまり
目立たない方が
いいよ
ん？
ブランシュ様に
見とれてたの
かね？
…いや


それより
本当に
あの子供が
アラールの孫で
小さい方の
棺が娘で
あの一番
偉そうな
尼さんが奥方
なのかい？


…ああ
最悪なことに
…ね
フロリュス卿
？

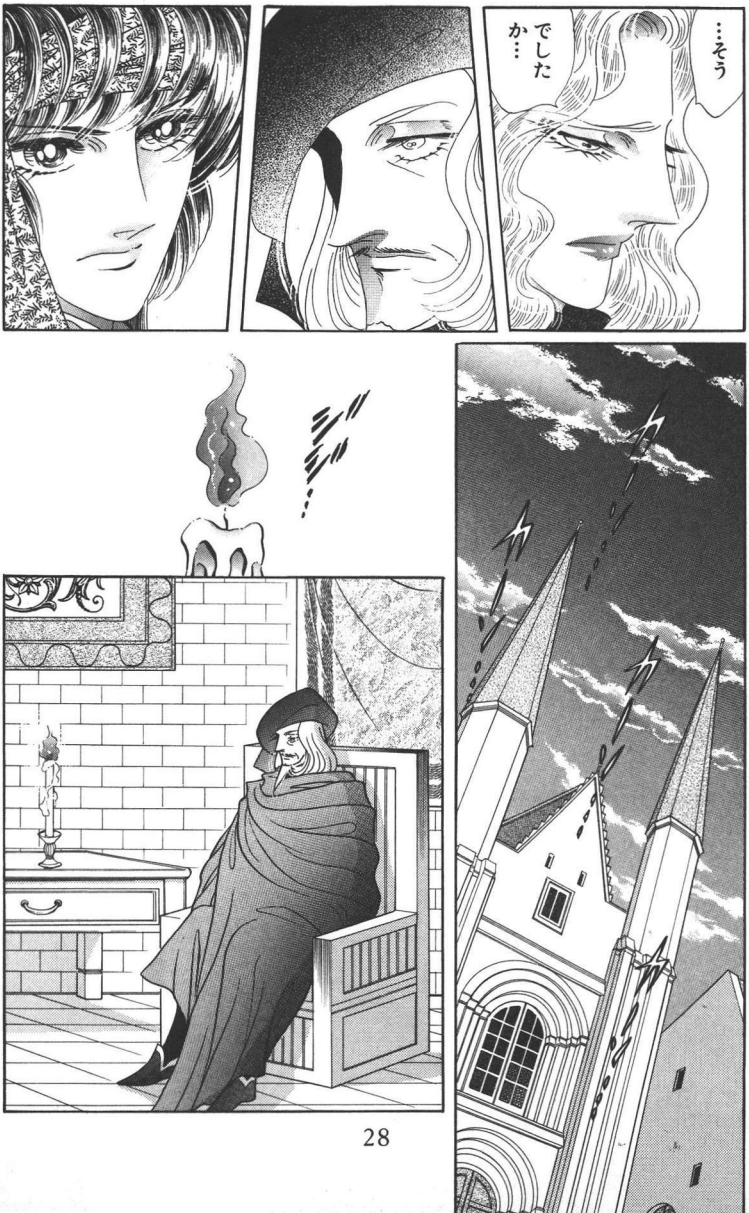

シヴリー修道士…
お待ちしておりました
どうぞ葬儀が終わるまでこちらへ
かたじけない
……正直言ってまさか貴方がおいでとは…卿
え？
…いえ
フィリップ王が自ら参上されると思っておりましたので…
まさに自ら
駆けつける途中でしたよ
フィリップ様は…
…ああ
いいえレニエ


馬の用意はできたかっ!?
はっ
警護隊はっ!?
すでに控えておりますればっ
よしっ
シャリュまで一気に走るぞっ
続けっ
陛下!?
父上!?


何事ですか!?
フィリップ様
今頃からどちらへ!?
リチャードがシャリュ城攻撃で受けた矢キズがもとで重体だっ!
くたばりかけてるっ!!
リチャード様が!?
英王が!?
あれが仏王フィリップ2世
あんなバカ死んでもかまわんがそのせいでミレジーヌも一緒に危篤だっ
…ったくあいつは…
最後の最期までミレイを誰にも渡さん気だっ


え？
ええっ!?
ミレイが!?
なぜ!?
まさか彼女も戦闘に参加した訳では…
……
おまえもバカだな!!
フロリュス！
そんな訳あるかっ!!!
負傷したリチャードの手当てに
身重の体をおしてかけつけようとしたらしい…
そのせいで途中腹の子を早産
母体は無理がたたって危ないと知らせが来た


先にゆくっ
ドドドドドド
おまえも後から来いフロリュス
…ですがその途中リチャード様達の訃報に会いまして…
…そうか
リチャードとミレジーヌは逝ったか…
死人に用はないパリに戻るぞ
ヤッ!
陛下？
フィリップ様？
帰ってシテのノートル・ダムでミサだ
死者にはその方がふさわしい…
もう会えぬ
あの2人には…


…そう
でしたか…


え〜とォ
きっともっと人気のない
隠れるのにちょうどいいのは…
えっ
えっ
えっ…


こっちか
父さま
父さま
ガサ
ガサ
いた
いた
母さま
〜〜〜
…いくら
きつくたって
ブランシュ
？
女の子
なんだから
……
俺だって
悲しい時やつらい時は
よく隠れて泣いたもんな
おまえ
誰!?
葬儀の最中
泣くの我慢
してるように
見えたと
思ったら
やっぱり
…！
ここは
女子
修道院の
棟よ！
男は
入っちゃ
いけないのよ!!
父さまだって
入れなかったわ！


ブランシュ
手を
出してみな
ゴソ
ホラ
？
……
……
何…
これ…
カペーの
ルイから
お見舞い
おまえに
渡してくれ
って
ルイ王太子
がっ!?


きれいねェ
こんなのアリエノールお祖母さまだって持ってないわ
すっごーい
そりゃ当然だ
それは俺がカイロから持って来た最後の一コだからな
あの王太子目が高いぞ
カイロ!?
エジプトのカイロ!?
おまえ東から来たの!?
いーや南から
やっと自由になって
祖父さんと2人カイロを出て
それで北アフリカの海岸に沿って西へ向った


俺は通る街で
珍しい物や
きれいな物を買って
別の街で
売って
祖父さんは
道々
いろんな
薬草を採取
しながら
病人やケガ人を
看て


ポルトガル
レオン
カスティリア
グラナダ
そして
地中海の
海峡を渡って
イベリア
半島に
入って…
アルモハード帝国
ここまでは
いいんだ
エルサレム
カイロ
アイユーブ朝


半島の先は
まだ回教圏
だからな
え!?
「どーする?
引き返すか
?」って
言ったら
祖父さんが
死ぬ前に
どうしても
故郷が見たいって
言い出して…

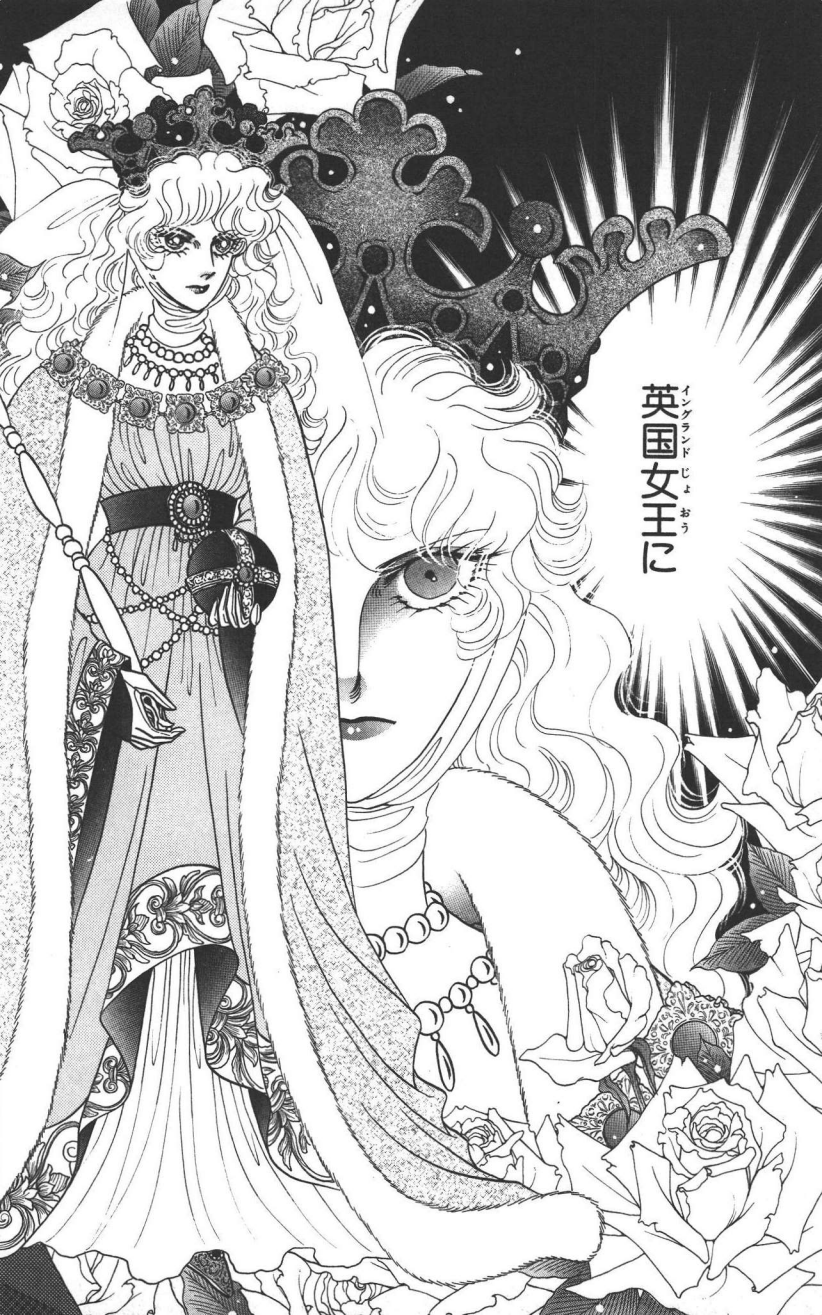

だから
ピレネー山脈を
越えて
パリへ来たんだ
……
おまえっ
おまえ
回教徒
っ!?
異教徒
なのっ
!?
それが
どーした
?
異教徒
でも
おまえと同じ
アラール・カペーの
孫だぜ
ブランシュ・
プランタジネット


……
アラール
昔 東方で
行方不明に
なった
ミレイ母さまと
リドナお祖母さまを
おいて…
お祖父さま!?
故リチャード陛下より
色良いご返事は遂に
頂けませんでした
今までも再三の
打診をして
参りましたが
しかし
ここに改めて
私を使者と
して
我が主 仏王
フィリップ2世より
正式の申し入れを
なにとぞ
王太子
ルイ殿下の
花嫁に
ブランシュ姫を
賜わりたく…
生憎じゃが
フロリュスよ

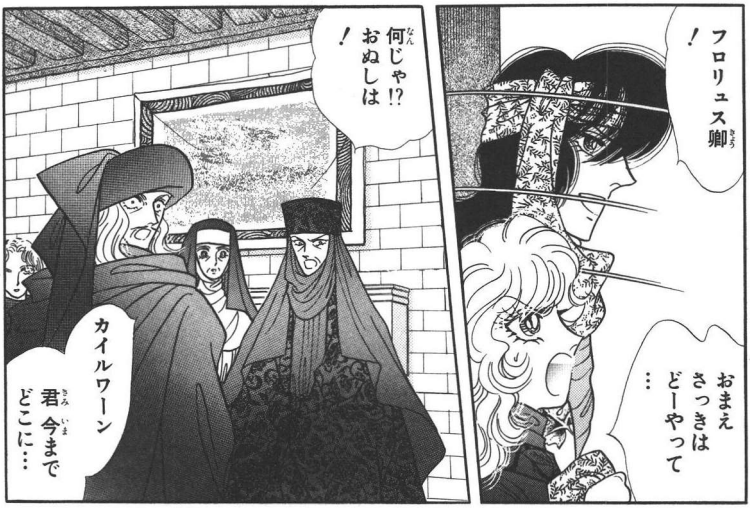

アリエノール様!?
母太后!?
フランス王家にはやらぬ！
アキテーヌ女公は2度とカペー家には嫁がぬ!!
あれは我がアキテーヌとポワトォーを継ぐ者!!


リドウィナお祖母さま!!
お祖母さま！
アラールお祖父さまが…


ブランシュ・
ブランタジット
あの娘は
妾
アリエノール・
ダキテーヌと
英国王
リチャード一世の
後継者
いずれ
ポワトォー女伯となり
アキテーヌ女公となり


英国女王(イングランドじょおう)に


女王!?
女の王!?
キリスト世界じゃ女が国王になれるのか!?
…おまえっ
おまえのバーちゃん
すげェこと考えるバーさんだな



中世「医術」は女性と教会の領分だった。
これは家庭内での病気やケガの治療は主に主婦の役目だったためだ。
特に体に刀を入れる「外科」は「女医」が担当することが多かった。

（教会は宗教上の理由からできない。）

ルイ9世夫妻も十字軍遠征に同行させているのは女医である。
13世紀の中頃までこれはさして特別なことではない。
ところが14世紀になり女医は医業から遠去けられる。
なぜならパリ大学の免状がないと非合法になったからだ。

（女性は大学に入れない）

以降無資格で医療を行う女性は魔女狩りの対象となった。


…
リドウィナ
彼は君の客だよ…
…
まさか
アラール!?
リドナ
お祖母さま
…


今日は何だい？
やけに聖母マリア大聖堂の鐘が鳴るね
なんでもポワトォーのフォントヴローから大修道院長様がおみえで特別ミサをなさるそうだよ
カヤ
カヤ
あの有名な女の院長様が!?
だからごらん
わざわざお城から王様もおいでだよ

パリ・シテ島のノートルダム寺院の建造はセーヌ河の水運を利用して12世紀に始まった。

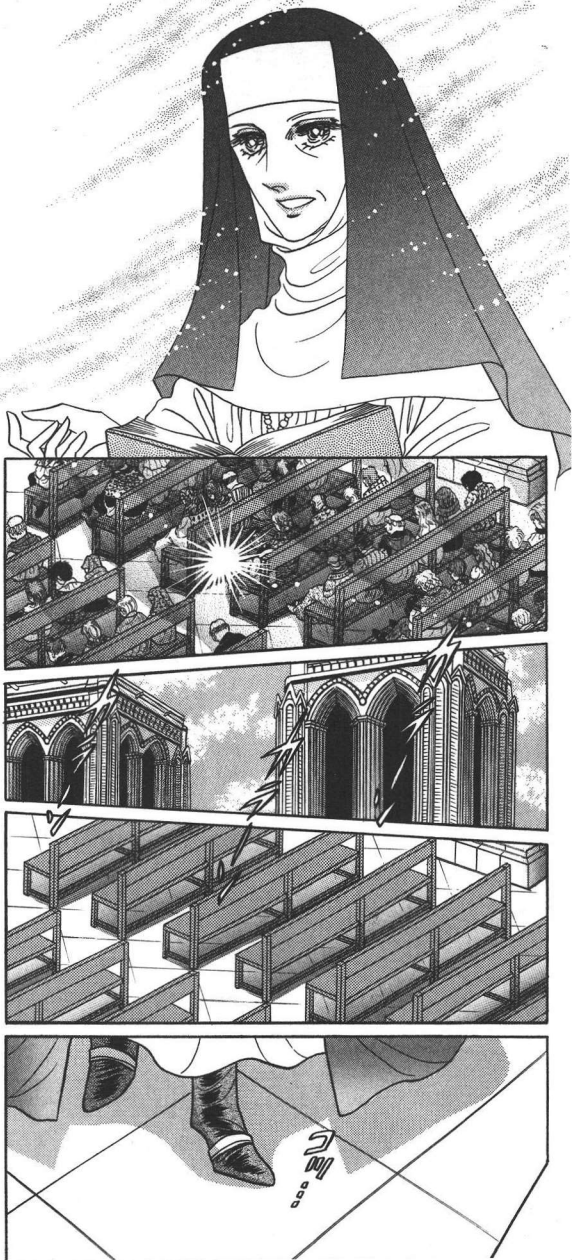
完成までに約200年を有している。

従ってこの作品に描いている様に当時はまだこの姿ではない（ご免）。

フランス・ゴシック建築の最高傑作。

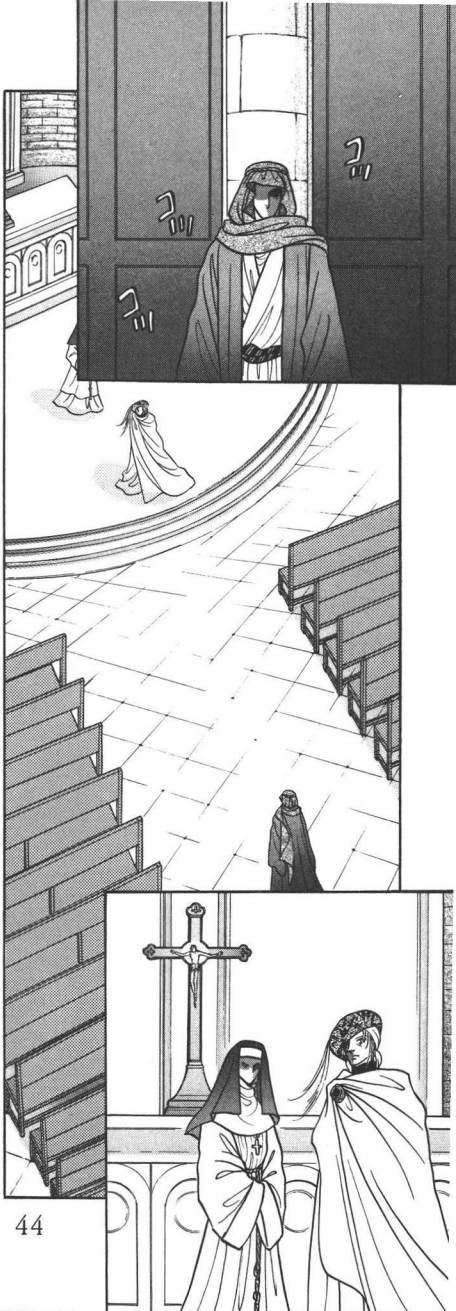
パリの街はこの寺院を中心に発展してゆく。

'88. 10. 27
阿惣谷



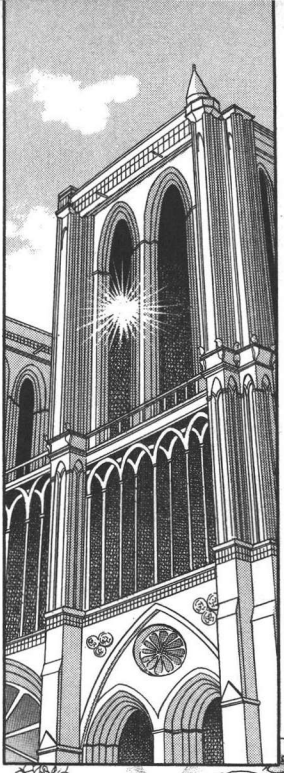

…リドナ

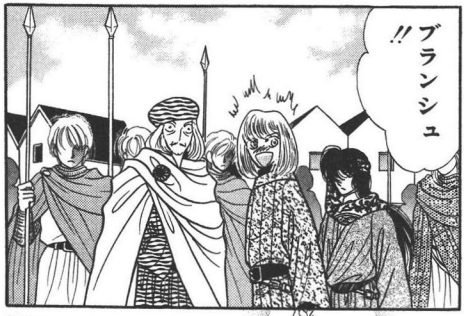

すっかり
白髪頭ね
アラール
それは私も
同じだけれど
お互いよく
生きて
いたこと


コツ
コツ
コツ


まったくじゃ！
真実そなたよお生きておったぞ
アラール・カペーよ
ア…ア…アリエノール王妃様!?
アラールそなた
忘れてはおらぬだろうの？
リドウィナを不幸にしたのなら
妾の恨みを買うのだということを!!
アリエノール様…
王妃様…


ルーイ




ブランシュ!!


お祖母様達と一緒に来てたの？
ルイ ルイ
うん！
お見舞いの腕飾りありがとう
思ってたより元気そうだね
よかった
お2人は幼馴じみでね


ルイ殿下は
生まれつき
お体が弱くて
また
お熱が
…
うぐぐむ
おお！
そーだ
それで
フランス一の
名医である
ブランシュ様の
母君に
よく
ポワトォーから
診に来て頂いて
いたんだ
いかんで
いいっ!!!
じゃあ
ちょっと
パリへ
おでかけ
おでかけ
♡
まあ
可哀想に
…


その折
よく幼いブランシュ様をお連れになって
殿下には何よりの良薬になった
ホホホ…
ホホホ…


見てりゃわかるさ
王子があの娘に惚れてるくらい
だから年下でも立場はブランシュの方が上みたいだな
うん
市場へ行きたい！
でも
あれだけ気の強い悍馬
あの優しい王子様で本当に大丈夫なのかい？
…パリに着いて
この大聖堂前の市場で店を開いていた時
ワイ
ワイ
ワイ
ワイ
もしこの王子に出くわさなかったら…
おせーなじーさん
変わった造りだね
それ見せてくれる？


え？
…地味だが絹だなこの服
あ…あぁどうぞ
物腰も優しいし
ありがとう
やぁこっちもきれいだ
どこで手に入れたの？
なんというの？
物言いも穏やかだし
カスティリアの「ダマスキナド」だよ
黒い地は焼いた銅？
はめ込まれているのは金糸だね？
目も確かだ
昔イベリア半島の大部分がイスラムの国だった頃
シリアのダマスコ人が伝えたんだと


シリア
!?
東方の
!?
金持ちで
育ちのいい
坊ちゃんだな
こりゃあ
本場産のも
あるぜ
ただし
もう一コ
だけだ
こいつは
鋼地じゃなくて
白い象牙に
小さな宝石も
いっぱい
付いてる
だから
少々値も
張るんだが
…
素晴ら
しいね!
うん
いいな!
白…
白か!!
じゃ
これを
もらうよ
いくらに
…
…
ルイ様


じい
このような人ゴミを
お一人で出歩かれてはなりませんとあれ程…
ワタ…
王家が術る聖母マリアの市に
大丈夫だよ
不埒者などおらぬさ
…アッ
アラールッ!?
じい?


アラール
アラール
！
うわっ
おまえ
生きてっ
今まで
どこにっ
ちょっ
ちょっと
待てっ！
おっさん
落ち着け
っ!!
うぅ
おまえが
いなくなった
せいでな～
うぅ
リドナと
ミレイは
英国側に
取られてな～～
うぅ
ブランシュ様
だって～～
落ち着いて
俺の話をっ
……
ん!?
なんでおまえ
こんなに若く
なってんだ
？
それに
髪の色が…
カイルワーン
！
すまん
カイル
遅くなって
大聖堂での祈りに
つい熱が入って
……
ワイ
ワイ
アラール！


アラール？
……アラール
なのか…？
…おまえ
フロリュス……か!?
アラールのこの旧友との邂逅はなかったろう


今更リドウィナとミレジーヌに会ってどうなる？フロリュス
フォントヴローの大修道院長に英国王の妻だって!?
2人ともう私など必要ないじゃないか!!
アラール…
そして
と…ともかく城へゆこう！
フィリップ様に会ってくれ!!
フロリュス卿にひっぱってゆかれた王城で
フ…フロリュス
アラールの娘夫婦の悲報に会うことも――


自分の娘の葬式に行かない気かよ？アラール
妻に会わせる顔がない…
彼女は私を許してはくれない…
わかった んじゃ俺がゆく
クル！
…と言ってアラールの奴イジけてるんだけど
貴女はどうしたい？
…わかったわ
では私が会いに行きましょう
奥さんの方が強い！


そーゆー夫婦だったな
そーいえば
ええ
ふうぅん
やっぱり
どーなるかは夫婦の問題だけど
今更世俗の夫婦に戻れるとも思えないし…
一応アラールとはパリまでは一緒するって約束だったから
この先俺はどーしよっかな
…カイルワーン
カイル君は
本当にアラールの孫じゃあないのか？
そ！
顔が似てたのはホントに偶然
初めて会った時は俺達も互いに驚いたケド
でもアラールも1/4当方の血が混ってるそうだから
元をたどればもしかして繋がってるかもな


カイロで知り合った？
うん
どうやって？
「白人奴隷軍」の奴隷小屋で
治療師と瀕死の重傷患者として
サラディンの…？
え…？
「マムルーク」…って
キャアアア
なっ何だ!?
ケンカか!?
…王城の衛兵と…
アリエノール様が連れて来られたポワトォーの騎士達


これは…
まさか…
あっちか!?
…
ルイ様…
ブランシュ様…
殿下っ
姫っ
お早くお逃げをっ!


殿下っ
ブランシュ様っ
フロリュスッ
じいっ
ぐわっ
僕じゃない
狙われてるのはブランシュだ
この者らはブランシュを殺そうと…
ルイッ…


殿下っ…
ぐっ…


え…
えっ
借りるよ
ギャ!
カイル
ワーン!?
邪魔をするなっ
何だ!?
小僧


カ…
カイル
うくくん
欧州の剣は
やっぱ
斬れ味が
悪いなァ
カイル
ワーン…
あっという間に
数人の騎士を
たった一人で…
ブ…
ブランシュ
見ちゃ
ダメ…
ピッ!!

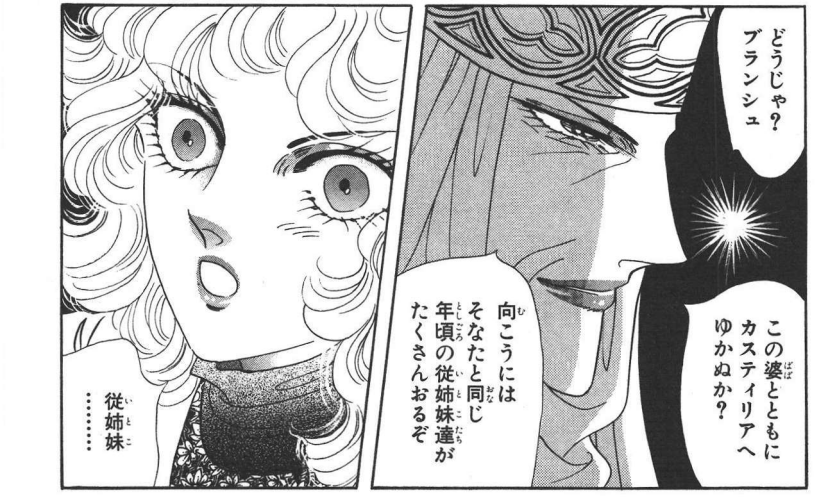

父さま達のお葬式の夜
フォントヴローの奥園で
アラルお祖父様のことを
もっときき出そうとしたら
それきり口を閉ざしたから
曲者よっ!!
ここに男がいるわ!
こらっ
ブランシュ
誰か捕まえてっ!
しょーがねーなァ
じゃ
また後でな
ブランシュ様!?
どこに曲者が!?
そよともせず
闇にまぎれ消えた


この少年 人殺しに 慣れてる!!
あ〜
全部 殺っちまったか
我ながら 悪いクセだ
こいつらの正体 きき出さなきゃ マズかったのに…
何!? こいつ!
…幾人かは
ジョンの 騎士どもの 中にあった 顔じゃのォ
アリエノール様!?
お祖母さま!
ジョン王弟殿下が!?
で…では これは ブランシュの 暗殺…
王位を ブランシュに などと 妾が申した せいであろう


カイルワーンと申したか？そなた
よい腕じゃな
どうじゃそなた妾に仕えぬか？
妾はブランシュを連れてカスティリアへゆこうと思う
そなたピレネーを越えてパリへ来たそうな
その道中の警護をせぬか？
カスティリア!?
イベリア半島の!?
お祖母さま…？
アリエノール叔母様の嫁がれた？

ビスケー湾
フランス王国
フランスにおけるイングランド領
ナヴァール王国
レオン王国
カスティリア王国
ピレネー山脈
アラゴン王国
ポルトガル王国
イベリア半島
地中海
アルモハード帝国
当時
南ヨーロッパの
イベリア半島は
アラゴン
ナヴァール
カスティリア
レオン
ポルトガルの
5つの
キリスト教王国と
半島の南分と
北アフリカの
西半分を占める
アルモハード帝国の
イスラム教国とで
成り立っていた


イベリア半島のカスティリア王国？
父さまの妹のアリエノール叔母様がお嫁に行った？
おおそうじゃ
カスティリア王妃となっておる
妾と同じ名の妾の娘じゃ
お祖母さまカスティリアにゆかれるの？なぜ？


どうじゃ？ブランシュ
この婆とともにカスティリアへゆかぬか？
向こうにはそなたと同じ年頃の従姉妹達がたくさんおるぞ
従姉妹……


うん！
行く!!
ブランシュ!?







アリエノールがピレネーを越えてフランス王太子の花嫁を連れにカスティリア王国を訪れた時適齢期（11〜15歳）の王女は3人いた。長女ベランジェールはすでにレオン王国の王位継承者（後にカスティリアを統合しアルフォンソ9世となる。）と婚約が整っており従って順序から当然次女ウラカが選ばれるはずだった。しかしアリエノールが自分の眼で見極め連れ戻ったのは三女のブランカだった。（この後性急にポルトガル王太子とウラカの婚約が決められた。）

ブランカ王女は仏王ルイ8世妃となり「ブランシュ王妃」と呼ばれ、聖王ルイの生母として優秀な執政者として仏史に確たる名を残す女性となる。


大体 冬に 山脈越えを しようだなんて！
おまえの ばーちゃんは 何考えてんだよ!?
俺は エジプト生まれの エジプト育ちなんだぞ!!
寒さは大の苦手だってのに！


いつまでも ギャーギャーと 見苦しい男じゃな!!
いい若い者が これしきの ことで何じゃ！
妾なぞ 雪のピレネーを 10年前も 越えたぞ!!
……
貴女 元気だな


当然じゃっ!!!
…ちなみに きくけど
トシ いくつだ …!?


80じゃ
そなたは
!?
おまちいゅ
……
……
……
13
……
失礼しました
……
スゴ
スゴ
ゆかいな
よいのじゃ
カイル
!
ブランシュ
!?

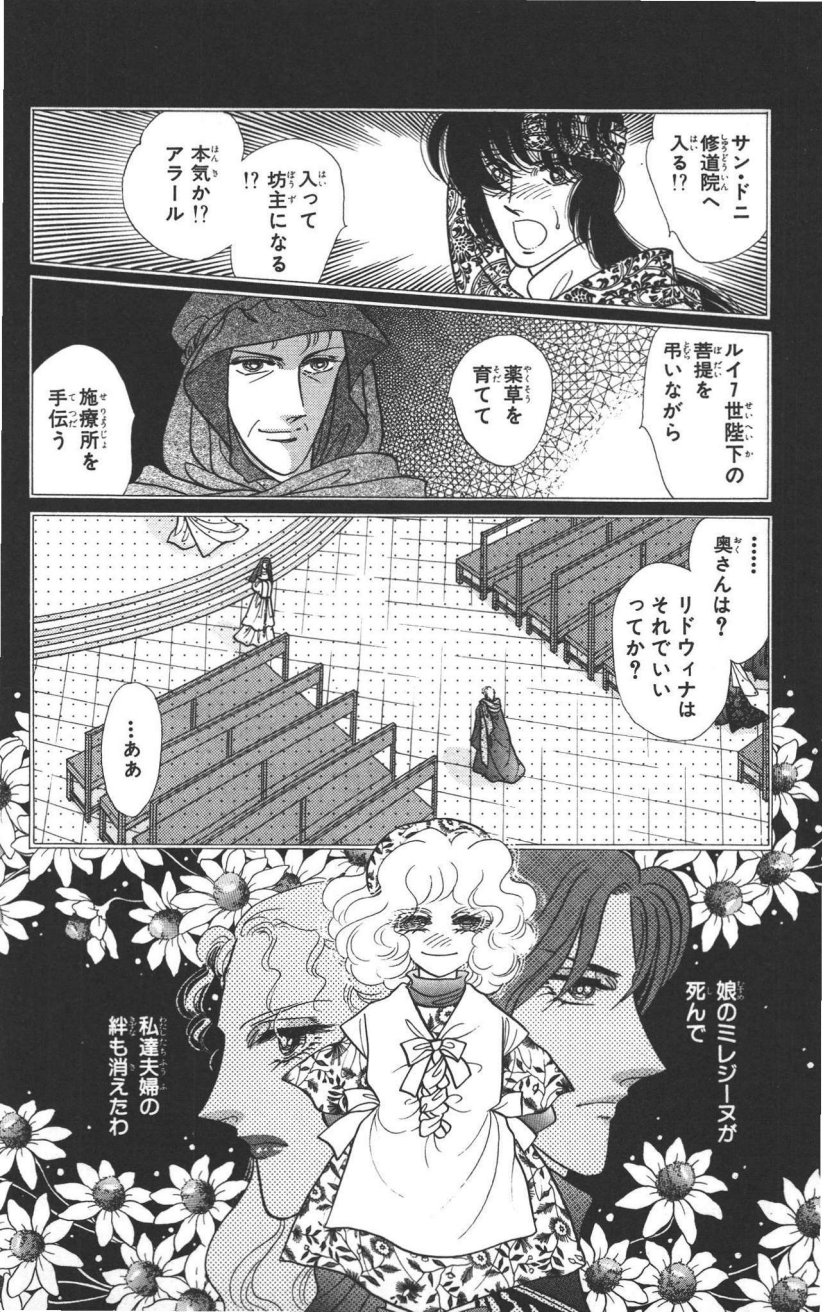


1204年3月31日（or4月1日）アリエノール・ダキテーヌは80歳を越す長寿（当時としては驚異的）を全うして死んだ。

仏・英2国の王と結婚し（これが後の両国間の百年戦争の原因）10人の子を生む。

それぞれを各国の王族・大貴族と婚姻させることにより彼女の子孫はヨーロッパ中に根をはり「ヨーロッパの祖母」と呼ばれる。

現在フォントヴロー大修道院に夫ヘンリー2世と最愛の息子リチャード1世を両脇に眠る。木像の横臥像がその面影を伝えている。


サン・ドニ修道院へ入る!?
入って坊主になる!?
本気か!?アラール
ルイ7世陛下の菩提を弔いながら
薬草を育てて
施療所を手伝う
……奥さんは？リドウィナはそれでいいってか？
…ああ
娘のミレジーヌが死んで
私達夫婦の絆も消えたわ


後はそれぞれの
主と神に仕え
心穏やかに
残りの人生を
全うしましょうか
アラール
ブランシュは!?
あんた達の孫はどうなるんだっ!?
あれには この世で一番頼もしい後ろ盾がいるわ!!


…確かに頼もしい婆さんだぜ
80歳の年寄りとは思えない 智力・体力
何より胆力!!
あの血がブランシュにも流れているのだとしたら…
……「女王」
いけるかも…


ブランシュを英国女王に!?
…ヘエ
アリエノール母后がそう言ったって!?
そりゃあのジョンが王になるより英国民には幸いだろう
アハハッ
もっとも英国の敵であるフランス王の私としては
外交相手は手強いアキテーヌ女公や獅子心王似のブランシュより
愚かで軽率なジョンの方が助かるんだが…
「女王」…ね
史上最大にして最強の「女相続人」…か


ピレネー山脈から…
ナヴァール王国を抜けて…
見えたっ！
カスティリアの街ブルゴスです!!
…母上様っ!!
アリエノールッ…


母上様
母上様
ああ
お懐かしい
おおっ
首都のトレドから
迎えに来て
くれたのかえ？
アリエノールや
嬉しい
のォ


はい
おいいつけ
通り
娘達とともに
お待ちして
おりました
紹介
いたし
ますわ


上から
ベランジェール
ウラカ
ブランカ
ですわ
ブラン
…
カ？


そうじゃ
カスティリア語で
〝白〟という意味じゃ
そなたと
同じ名じゃな
ブランシュ
ブランシュ
!?
この娘が
ブランシュ
!?
リチャード兄様と
ミレジーヌの!?


まあ
兄上様の
幼い頃に
なんて
よく似て
瞳の色は
ミレジーヌね
懐かしいこと
貴女の
お母さまは
妾の実の姉以上
だったわ


何
テレてんだよ
らしく
なく
おまえの
身内だろ
きれいで
優しそうな
女性じゃねェか
なによ!!
「こっちの女は
顔もかくさず
平気で人前に出て
はしたない」
って最初は
おこってた
くせに!!
もう
慣れたわい


いらっしゃいブランシュ
一緒に遊びましょ
うんブランカ
ズザザザ
うつ
……慣れたんじゃないの？
…正直言って
おまえとバーさんだけかろうじて…
あのねブランカこいつ男で異教徒だけど
ブランシュ
私の身辺警護の者だから「離しちゃいけません」てお祖母様が
だから一緒でもいい？
いいわよォ
いこ
おまえは
ブランシュ……


3人の娘達の中一人をフランス王太子妃に!?
では未来のフランス王妃に……!?
そうじゃ
フランスと英国の和平同盟の証として
英王家の血を引く娘を仏王家へ嫁がせる
仏王家と同盟などしとおはないがフランス王フィリップ・オーギュストは英敏・狡智
大陸での英王家の所領を護るためには致し方ない
でしたらブランシュが一番いいのでは?
あれはリチャードの忘れ形見じゃっ!!
絶対手放さぬっ!
母上と見上げは子離れ親離れが…ミレジーヌはよくグゥンガ…


そうですわね
長女のベランジェールはすでに隣国レオンの王太子と婚約しております故
ウラカかブランカのどちらかを…
できればブランシュと気の合う方がよいのだが…


では しばらくカスティリアに滞在なさって様子を見られてはいかが？
トレドにもいらして頂きたいし
夫のアルフォンソ8世も待っておりますので
そうじゃなァ…


ブラシンュ達は
いつ頃戻って
来るので
しょうか？
そーだ
なァ
ん～～～


…父上！
何だ？
ルイ


まず 真冬の
ピレネーの
往復行は
大変だし
すぐに
帰って来たと
しても
四旬節の間は
結婚式は
できんのだから
とりたてて
急ぐ
必要もない
私なら
復活祭(4/8)まで
向こうに
留まるが…


英母太后は
なぜ
このような時期に
カスティリアへ？
ブランシュと僕の
結婚を承諾して
くれたのでは
ないのですか？
……
……
フィリップ様
フィリップ様
ただ今
あちらに…
フロ
リュス？
…ジョン？
ジョン・
プランタジネット


なぜだ!?
フィリップ・オーギュスト!
きさま
兄・リチャードの
生前は
私を焚き付けて
散々
兄に刃向わせて
いたくせにっ…
…それは
ジョン
当然
自分の手を
煩わさずに
あのリチャードを
困らせるには
私には一番
楽で得な方法
だったからさ
なのに今更
母と和睦し
兄の娘の即位を
認めるだと!?
ブランシュが
英女王となり
我が
王太子と
結婚が叶えば


フィリップ……
半世紀前
アキテーヌ女公の再婚で英国に編入された仏領を取り戻せるだけではなく
障害は
あのババアだ
そのためには…
手を打ってはみたが…
私は苦せずしてドーバーを越えた
英国本領まで手に入ることになる
イングランド王国
ノルマンディー
ブルターニュ
アンジュー
ポワトゥー
パリ
アキテーヌ
フランス王国
ピレネー山脈


…同じ名同士
どうやらブランシュはウラカよりブランカの方とウマが合うようじゃな
ではフランスへはブランカを？
すまぬな年若い方を先にもらい受けて


ウラカは
ポルトガルへ
やりますわ
ちょうど
申し入れが
ございましたの
それは
重畳じゃ


じゃあ
俺はもう
要らねェか？
元々
カスティリアまでって
約束だったし


おお
カイルワーン
！
……
そうじゃな
フランスへの
帰路は
花嫁を送る
カスティリアの
兵が
大勢
護衛に
ついてくれるで
あろうし…


では
今日までの
報酬を
支払おう
来るが
よい
…金より
欲しいモノが
あるんだが
ほお
何じゃ？
…
ゆうて
みるがいい
アリエノール・
ダキテーヌ
貴女の命
…カイルッ
待ちなさ
……


なっ…
レ…
レニエ…
シヴリー
修道士(しゅうどうし)…!?


なんともない…？
斬れているのは衣服だけ…？
どうして……
キャアア
レニエの脇を抜けて
俺は確かに
バーさんの喉笛を斬り裂いて……
この方には未だすべきことが遺っておいでなので…
だっ誰ぞっ…出合えっ
衛兵っ
衛兵――っ
チィ…


カイル
どこへっ…
カイル!?
どうし…


カイル
ワーン？
ブランシュ
!?
ブランシュ
……
手綱をかせっ
ブランシュ
…誰ぞっ
あの馬を
止めよっ
あの
異教徒の
子供を
逃すなっ
城門を
閉じよっ
ブランシュを
助けよ
――っ


カ…
カイル
おまえっ
て…
あ――っ
くそっ
ドジった!!
しくじるなんざ
初めてだぜ!
何者だよ!?
あの坊主は!!
おまえ
こそ…
何…!?


エジプト
「白人奴隷軍」の
暗殺専門の
戦士!?
あの
カイルワーン
が!?
それは
本当か!?
アラール


カイルが…
刺客…
そんな…
フロリュス
この失態…
あの雇い主は
きっと
許しちゃあ
くれないだろうな


俺に話があるって？
フィリップ陛下
ノートル・ダムの市場での騒ぎのあらましは
フロリュスから聴いた
単刀直入にきく！
君は何だ？
…戦士だよ
欧州でいう騎士かな
カイル ワーン
ただ正規兵になるにはまだ年齢が足りない
体が小さい
だが正規じゃなければもう使える
目立たない分余計 都合がいい


暗殺者…か!?
そーゆーこと
自分で言うのも何だけどいー腕だったんだぜ
では
女を殺したことはあるか?
おっ
女ア!!?
ああそうだ
この世で最も強く大きな翼と
鋭く硬い嘴と鉤爪を持った
ーー


金の鷲（アリエ・ノール）
雌（メス）の猛禽（もうきん）だ!!
「マムルーク」
アラビア語で
「白人奴隷（はくじんどれい）」のことだ



サラディンが死んでその諸子達に分割されたエジプト・アイユーブ朝の実権は次第に軍隊を直に掌握するマムルーク出身の司令官達に移っていった。

仏王ルイ9世は第7次十字軍を発し(一二四八)エジプト沿岸のダミエッタに上陸し占領した。

しかしマンスーラの戦いで捕虜となり釈放と引き換えに同地を返還。

同じ頃カイロでは軍事クーデターが起こりマムルーク朝が立った。(一二五〇)

ルイ9世はパレスチナとシリアのラテン国家を立て直すべく一二五四年まで聖地に留まったが成果は芳しくなかった。


身分は
奴隷でも
一種の
特権階級だ
手柄を立てて
出世すれば
自由民になれる
だから兵達は
張り切る
強いはずだ
その強さを
存続させる
ために
今度は
子供のうちに
買ってきて
幼いうちから
徹底的に
訓練する
ようになった
子供は稀に
奴隷の子の中
からも選ばれた
あの子の
父親も
優秀なマムルーク戦士
だったそうだが…


…
大体っ
初めて会った
時から
おかしいと
思ってたんだ
っ!!
男のくせに
あんなに
きれいだなんて
普通じゃねェ!
ありゃ
人間じゃ
ねぇ!!
一体どんな魔術を
使ったんだ!?
あの妖怪は!
…レニエは
アリエノール
お祖母様の
異母弟よ



仏王フィリップ2世

1165~1223

在位（1180~）

通称・尊厳王

3度結婚している。

一人目はフランドルのイザベル・ド・エノー。王太子ルイの生母。

二人目はデンマーク王女イザンブール（インゲボルグともいう）しかし結婚式の翌日離婚しそのため教皇を怒らせ仏国内での教会行事禁止令をくらう。（1200年1月13日）

（フィリップ死亡時王妃だったのはこの女性。）

三人目はドイツ帝国の王女アニュス・ド・メラニー。二人の子（フィリップとマリー）を成す。

彼の同腹の妹アニュスは二人のビザンチン皇帝に嫁いだが死別。


レニエ・シヴリー修道士…
不思議な力の…
…そうか！
あの男がアラールの言っていた
東方の砦でリドナとミレイと分れた後
リドナ
ミレイ
グス…
私はサラディンのエジプト側に捕まって奴隷にされた
アラール？
カイルワーンは言っていたが
ああそうだよ
おまえと出会ったのはカイロだと


治療師の
腕を認められて
重宝がられて
大事には
されたんだが
もう
少しだ
我慢しろ
お…
おう
ヨルダン
シリア
パレスチナの
最前線ばかり
連れ廻された
俺のが
ぶらぶら
バーロー
我ながら
よく
生き残ったと
思う
うん
うん
第3次
十字軍で
サラディンと
英王リチャードが
休戦協定を
結んだ後
しばらく
平和に
なったので
まさか
あそこに英王と
ミレジーヌが
一緒だったとは


カイロに送還され
今度は王城の兵舎付きの医師にされたんだ
カイルワーンと出会ったのはそこだった
何だっ!?
このひどいケガは刀傷じゃないか
おまえ達こんな子供に何をしたっ!?
訓練中の事故だよくあることだ


やりすぎだっ
水っ
布っ
…助かるか？
そいつは優秀なんだ死なれるのはもったいない
勝手なことを言うなっ
こんな薄情な奴らのせいで死ぬなっ
頑張れよっ
おいボーズきこえるか死ぬなよっ

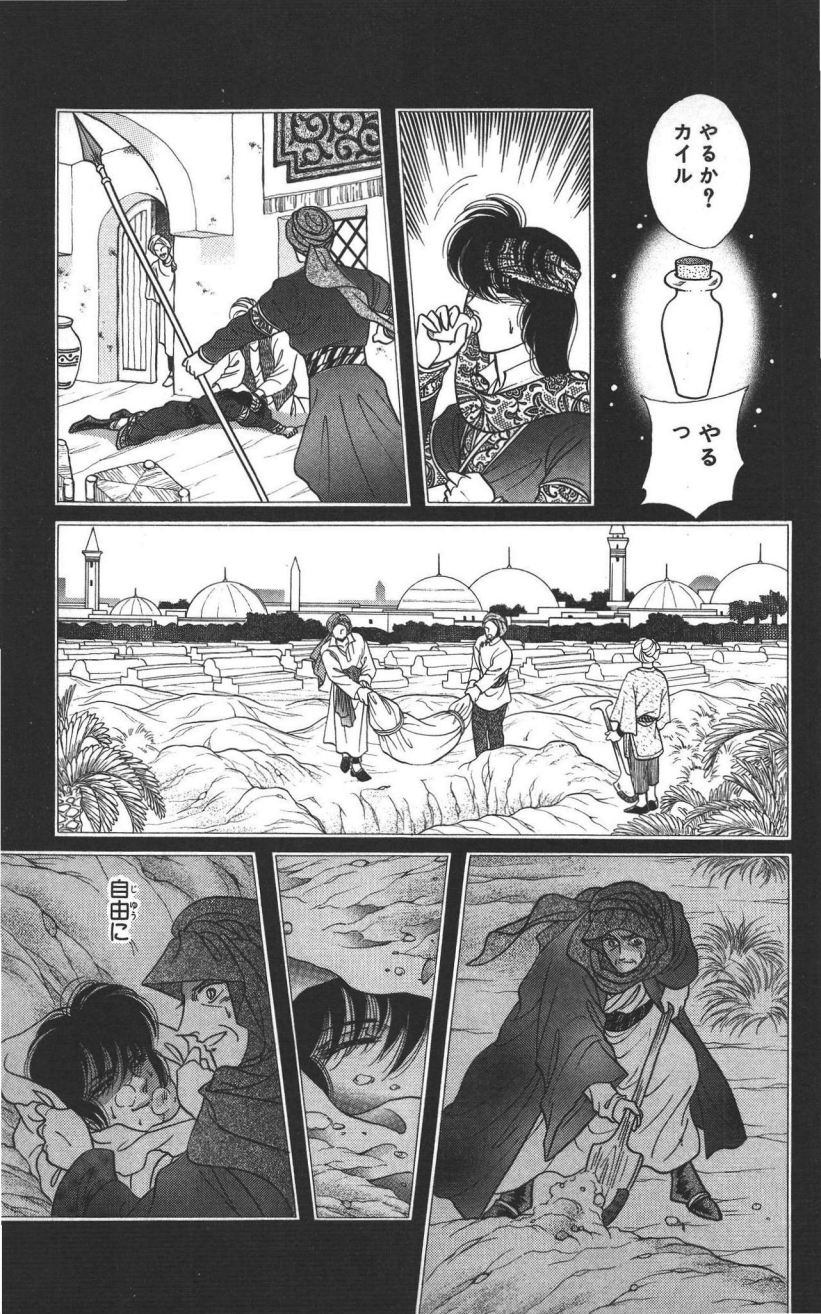

……
ブランシュ？
いきなり
何すんだ
――っ!?
嘘ついた
――っ
おまえ
アラール
お祖父様の
孫じゃないのね
嘘つきっ
あたしの
従兄弟じゃ
ないのね


ブランシュ…
ドドドド…!!
いたぞっ あそこだっ
逃すなっ
姫君を救えっ
…カイル!
クソッ
逃げるなら
あたし置いてった方がいいんじゃない?
…ホントに
俺がアラールの孫だったらよかったんだけどなァ…


俺の父親というマムルーク兵は
自由民になれず
戦死した
だから
奴隷が
奴隷女に
生ませた子供は
奴隷のままだ
俺は
マムルークに
なるしかなかった
訓練自体は
つらかったが
他所から
買われて来た
奴らと違って
俺はそこしか
知らなかったから
闘うことも
殺すことも
そして
死ぬことにも
何の疑問も
なかった
アラールに
会うまでは
死ぬな


傷が治るまでも
治ってからも
城外の話を
色々
してくれた
廻って来た土地
出会った人々
異教世界の
こと
欧州のこと
故郷の
こと
妻のこと
娘のこと
家族…
いつかそれらは
俺の憧れになっていた


カイル
一緒にここを出ないか？
アラール？
今日言い渡された「年寄りはもういらん出て行け」とな
…解放されたのか!?
カイロを出る
おまえも一緒に来るか？カイルワーン
で…でもアラール
俺はまだ…
大丈夫だ
これを飲めば一日仮死状態になる
ここを出られる!?
外の世界へ!?
墓地に埋葬されたあと
夜に私が掘り起こしてやろう


やるか？
カイル
やる
っ
自由に


自由だ——!!
アラール
海だっ
海岸線を歩き
海峡を渡り
そしてカイロを出て
地中海だ
ナイル河の河口だな


半島を
南から
北へ巡り
山脈を越え
パリに
着くまで…
楽しかった
俺は笑ってしか
いなかった
気がする


なのに…
ここで別れようカイル
アラール!?
サン・ドニの修道院から俗世に出て
結局 修道院へ還って行く
どうやらあそこが私の真の故郷らしい
ここまで付き合ってくれて礼を言う
だがこれでもおまえは本当に自由だ!
おまえの好きな所へ行って好きなことをするがいい!
俺の好きな所!?
俺の好きなこと!?
アラール


俺が今日までずっと夢見て
焦がれて来たのは…
リドウィナ
ミレジーヌ
でもリドナは
世俗を離れ
ミレイも
死んだ
もう
…
あれは
誰だ!?
…まだ
いる!
ブランシュ
!?


ブランシュ…
俺の…
この娘の血縁なら傍にいられるかもと思い嘘をついた
俺はアラールの孫だ
邪魔なババァ
ブランシュは女王にする!!
誰にもやらぬ!
妾のものじゃ!!
あの婆さんさえいなければ…


だが
フィリップ王
間違えるな
ア!!!
!!!!
それは
あんたの
タメじゃない
俺のだ!!
ブランシュは
俺のだ!!
ポコ
…俺は
ポコ
ねェ
カイル
おまえ
これから
どーするの
?
自分の
ことしか
考えなくて
…
ポコ


俺は逃げるしかないさ
なにしろこの国の王妃様の母君殺害未遂だ
ばーさんが殺された時の
捕まりゃ確実にしばり首だからな
どこへ逃げるの？
ポコ
ポコ
ポコ
ブランシュの気持ちなんて考えないで
イスラム圏に入ってしまえばひとまず安心だから
とりあえずは南…だな
カイロに帰るの？


ブランシュは俺のことを気にかけてくれていたのに……
悪かったなブランシュこんな所まで連れ出して
近くの僧院かなんかで降ろしてやるから
坊さん達にでも頼んで王宮に連絡して迎えに来て…
…おまえパレスチナへ行ったことある？カイル
あったかい？
かもしれん…
嘘つき
あたしいない方が
逃げられるよ

パレスチナ？

いいや

…そう

ポコ

……

ポコ

おまえ…パレスチナへ行きたいのか？

うん いつか父さまが連れてってくれるって約束だったんだけど…

ポコ…

あたしと母さまの生まれ故郷 でも あたしは全然憶えてない

1歳の赤ちゃんだったから当り前だけど…

…ねェ カイル

カイロからなら パレスチナはすぐよね？

…まさか

…おまえ


俺におまえを
パレスチナまで
連れてけってか
〰〰!!?
女が
…子供が
…
一人で
旅できる所じゃ
ないんだぞ!
2人よ
同じだ
っ!!
いやなら
カイロまでも
いーわよ
キリスト側に
修道騎士なんて
できたのは
何の
ためだと
思ってる
〰〰
でも
おまえは
欧州の
騎士より
強いわ
バッカ
ゆーなっ!!!
きっと父さまと
同じくらい強いわ
獅子心王と
!?
ブランシュ
…本当か?


…
おっ
俺は！
おまえの
ばーさまを
殺そうと
したんだぞ
!!
プル
プル
でも
アリエノール
お祖母様
死んで
ないんでしょ？
レニエが
言ってたわ
人間は使命を
果たさない内は
死なない…って
ブランシュ
…


フーン
カスティリアの密偵からの報告によると
「アリエノール母后の暗殺は失敗
犯人はブランシュを連れて逃亡
未だ行方不明」…ね
裏切ったか!?
何がいい腕だ!?
能無しめっ!!
カイルワーン!!
カスティリアの母上からの便り!?
「ブランシュとともに春に帰る」!?
どういうことだ!?
ブランシュは誘拐されたんじゃなかったのか!?
クソッ
ブランシュめっ
今度こそっ…


聖地への巡礼船!?
船でゆくの!?
バルセロナ
パレスチナへゆくのにわざわざ陸路をアフリカ廻りでカイロまで行く遠廻りなぞご免だからな!
春になれば大きな巡礼団が出る
俺達2人がまぎれ込んでもおかしくないさ
わあっ



春から秋にかけての季節風に乗り聖地への巡礼船は出航する。海路の方が陸路より一度に大勢の人数を運べ時間もかからず危険も少ない。（それでも嵐や海賊に遭難したが）

バルセロナ・マルセイユ・ジェノバ・メッシーナ等地中海の主な港では大きな巡礼団が組まれた。

南フランスのエグ・モルトの街はルイ9世が十字軍遠征のため乗船地として築いた軍事基地である。彼の王妃マルグリットはプロヴァンス伯の長女で夫とともに出征し、帰国した夫妻を彼女の家族がここで出迎えた。


それは
そーだが
…
いーかな?
後でバーさんに
おこられないか
?
平気よォ
♡
パレスチナへ行って
戻って来る頃には
元より
伸びてるわ
それに
あたし
ずっと
こーゆー風に
したかったもの
ブランシュ
…?
弓をかついで
馬を駆れ
たら…
剣を下げて
長靴をはいて
ドレスより
チュニック
着て


なんと
みっともない
!!
女子が男の
姿なぞ!
もっとも以前
そーしたら
やめてくれ
ブランシュ
せっかく
きれいな
娘なのに
お祖母様と
父さまにとっても
しかられたけど…
母さまだけが
だまって
笑ってた…
あーあ
女じゃなくて
男の子に
生まれたかった
なァ…
そーすれば
騎士になれた
のに…


騎士になって
一生懸命
鍛練して
父さまみたいに
強くなりたかった
そうすれば
父さまの
跡を継ぐのに
誰も何も文句を
言わないし
誰に頼らなくても
自分の手で
領地を護れる
…
何より
父さまみたいに
好きな相手としか
結婚しないで
すむわ…
ブランシュ

「女相続人」
…
女の「国王」とか
「領主」とかはね
結局は女だから
弱いの
バカにされ
ちゃうの

だから
代わりに領地を
護ってくれる
強い伴侶が要るの
女じゃ自分で
戦に出て
闘えないから



…
ブランシュ
おまえ…

まさかと
思うが…

今現在
誰か
好きで結婚したい
奴いるのか？

いるのね…

違うの
っ
そーじゃ
なくってェ



英王ジョン
在位1199～1216
通称・欠地王

ヘンリー2世とアリエノール・ダキテーヌの末子。王位を巡り甥を暗殺（兄ジェフリーの息子アーサー）
一番目の妻を離婚。（イザベル・グロスター）
他人の婚約者を奪い結婚（イザベル・ダングレーム）
対仏戦で失敗し大陸における英領の大部分を失う。
カンタベリー大司教の任免を企て教皇インノケンティウス3世から破門され屈服。
更には貴族達から専制政治を攻撃され、マグナ・カルタ（大憲章）に署名するハメになる。
英史上一番の愚王。


男だったらパレスチナにだって
父さまに連れてってもらうの待ってるなんてしないもの！
一人で行けるもの〜〜!!
……おまえのどこが不自由だというんだ？ブランシュよ
一介の草民どもはともかく
王家や貴族の家に生まれた娘は
おそらく当然のこととして親の決めた婚姻に従うのだろう
アラールに会う前の
俺のように
まるでその家の奴隷の如く

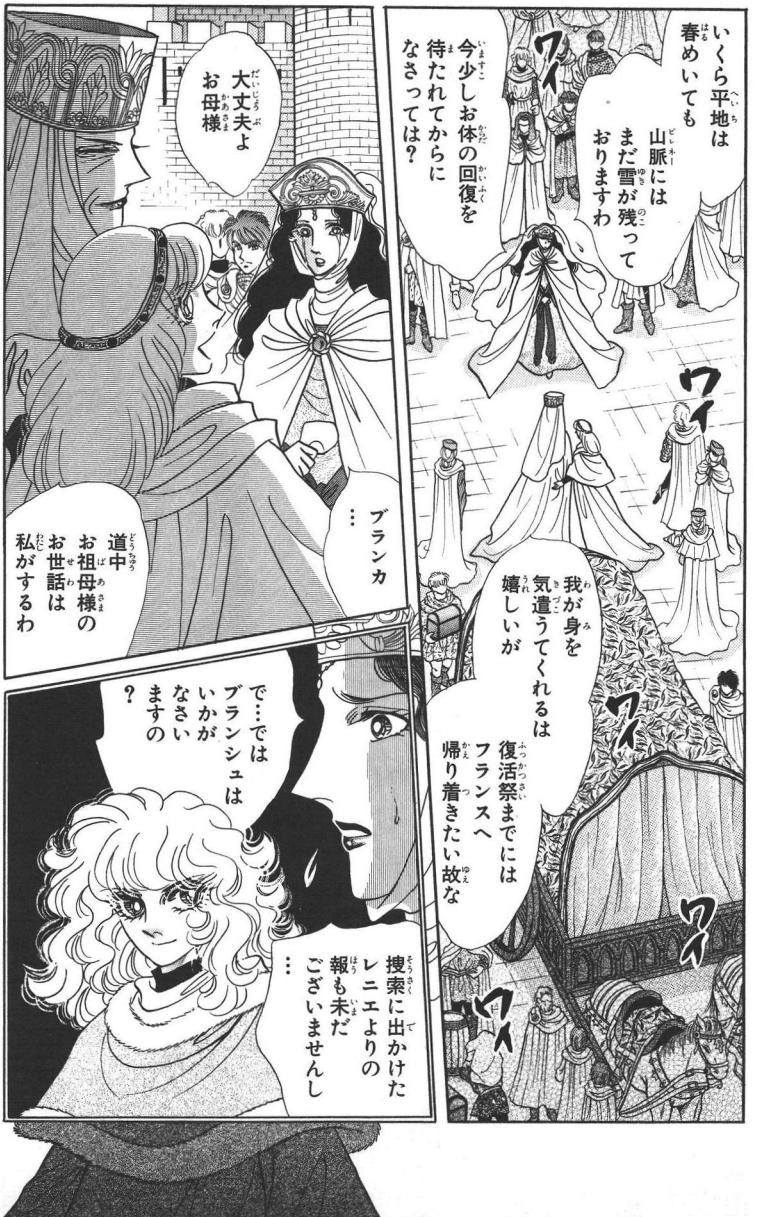

そんな疑問を
持てることすら
女なんて
つまんな〜い
っ!!
あたしもいつか
ブランカ達
みたいに
顔も
見たことない
男と結婚させ
られちゃうんだ
!
きっと
!!
おまえはなんと
恵まれていると
気付かぬ程に傲慢で
自由なことか


でも
俺は…
俺の
「自由」は
おまえだ
ブランシュ
おまえが
女で
よかったぞ
だから
おまえと
一緒に
いられるのは
嬉しいし
この先
も
パレスチナに
着いてもずっと
一緒にいたいと
思うぞ
おまえに
捕われていたい
カイル
ワーン
…?


それって
あたしに求婚
してるの？
…
ああ
まーな
この夢と憧れの
中に——
おまえの
バーちゃんが
到底許して
くれないのは
わかってるけどな
何しろ俺は
異教徒で
地位も
身分も
財産も
誉もなくて
欧州一の
富と権力を持つ
「女相続人」には
まことに
ふさわしくない
おまけに
バーさん自身の
殺人未遂犯だし
ヤ～～～
さぞかし
いい
だろーなぁ…
カイル
いいんだ
俺はおまえを
聖地に
連れてゆく
そう
約束した


だからバーさん
その間だけだ
ザザザ
その間だけ許してくれ
俺に与えてくれ
ブランシュとともにいるこの幸福を


トレド
…母上様
どうしても
本日ご出立
なさいますの？
うむ
ブランカは
しっかりと妾が
フランス王家へ
届ける故
安心いたせ
アリエノール
ワイ
ワイ
ワイ

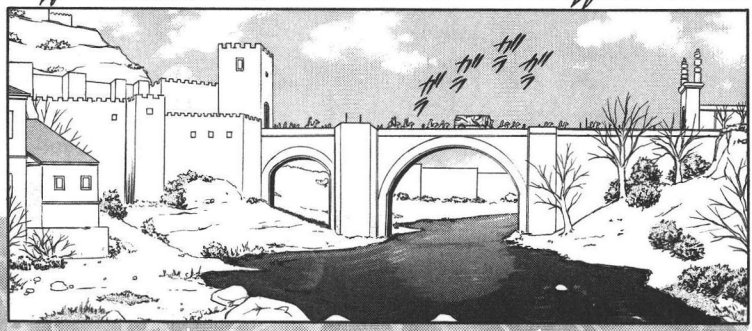

いくら平地は春めいても山脈にはまだ雪が残っておりますわ
ワイ
今少しお体の回復を待たれてからになさっては？
大丈夫よお母様
ブランカ…
我が身を気遣うてくれるは嬉しいが
ワイ
復活祭までにはフランスへ帰り着きたい故な
ワイ
ワイ
道中お祖母様のお世話は私がするわ
で…ではブランシュはいかがなさいますの？
捜索に出かけたレニエよりの報も未だございませんし…


途中必ず
ブランシュは
追いつくと
レニエは申して
おった故
あれのことは
心配致しては
おらぬよ


嘘ばかり！
ご心痛のあまり
何度もお倒れに
なられたくせに!!
トシじゃよ
トシ
なにしろ常人の倍は
生きておるでのォ


さらばじゃ
アリエノール
おそらくもはや
今生では会うこと
叶うまい故
末長お
息災でな
ご機嫌よう
お母様


母上様っ…
ブランカッ…


ガラ
ガラ
ガラ
ガラ


マルセイユ


だっ
大丈夫か!?
ブランシュ?
だ…
大丈夫
…じゃない
…おまえ
船酔い体質だったのか…?
知らな〜い
船に乗ったの初めてだもの〜
あ!
でも
父さまもたしかそーだったって母さまが言ってた

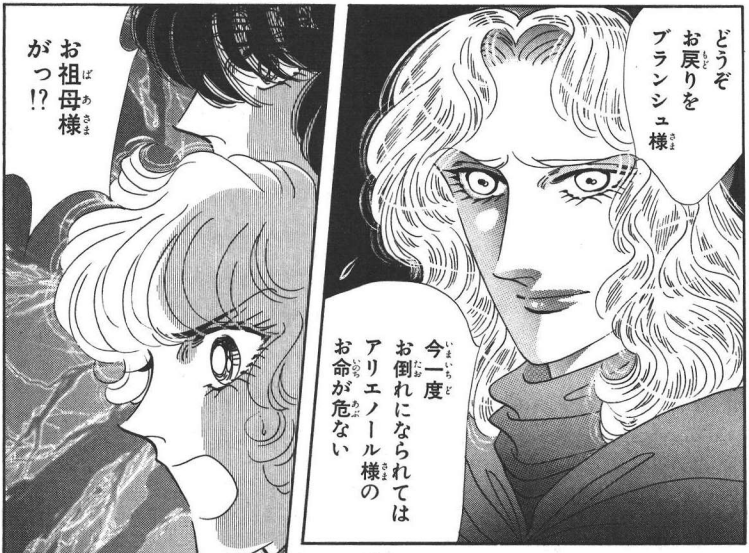

獅子心王が!?
船酔い!?
だ…だって第3次十字軍は海路だったってきいてるぞ
母さまがいたから母さまのお薬で父さま平気だったそーなの
でも 父さまお薬大きらいだったから飲ませるのに母さま一苦労だったらしいけど
ンでその娘も同じ体質か
でも薬はない
もう船乗るのやーっ
苦しいのやーっ
歩くのもやーっ
カイルーッ


しょーがねーなホラおぶされ
カイル？
このままパレスチナまで背負ってってくれるの!?
バッカゆーな!!
できる訳ないだろ！
馬を手に入れるまでだ!!
馬で陸路をゆくの!?
船がダメってんじゃそれしかないだろ
その代わりいつ聖地に着くかわからんぞ
うん！いいよ!!
覚悟しとけよ

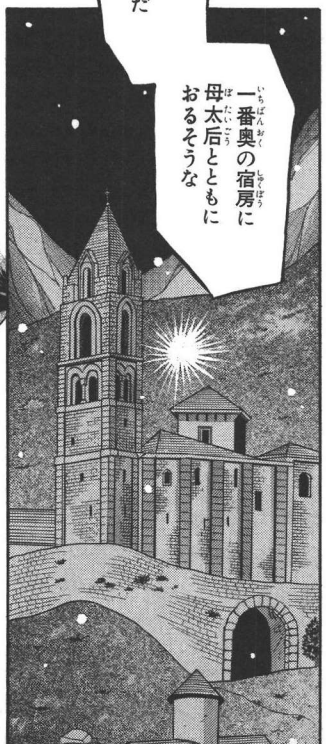

その方が
長く一緒にいられるね
カイルワーン…


ところがあいにくとこちらはそのように長い間待ってはおれません
どうか今すぐお戻り願えませんかブランシュ様
…あ!
シヴリー修道士っ
レニエッ


どうして
ここが
…!?
トレドから
半島の南へ…
イスラム圏に
逃亡されたの
なら私にも
視えなかったが
いかんせん
キリスト圏
ならば将来も
視える
だから早馬で
先廻りした

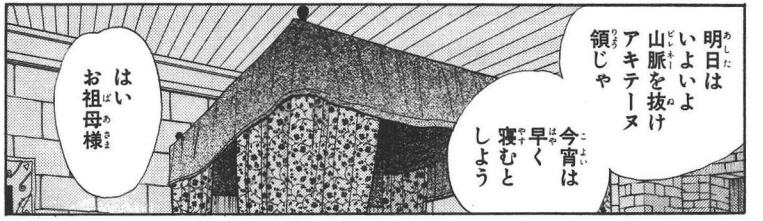

どうぞ
お戻りを
ブランシュ様
今一度
お倒れになられては
アリエノール様の
お命が危ない
お祖母様
がっ!?

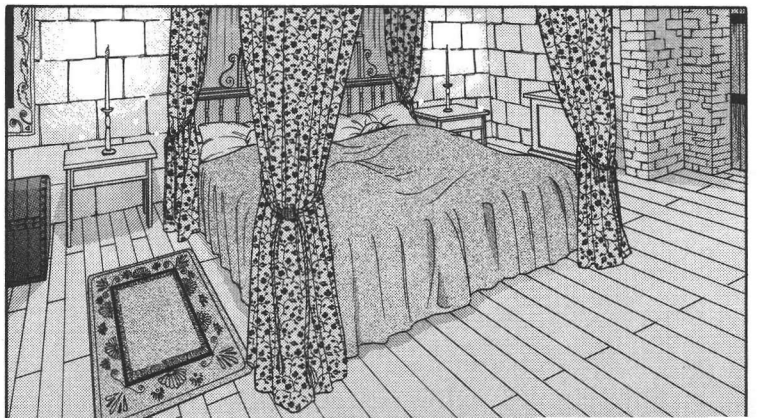

あの教会だ

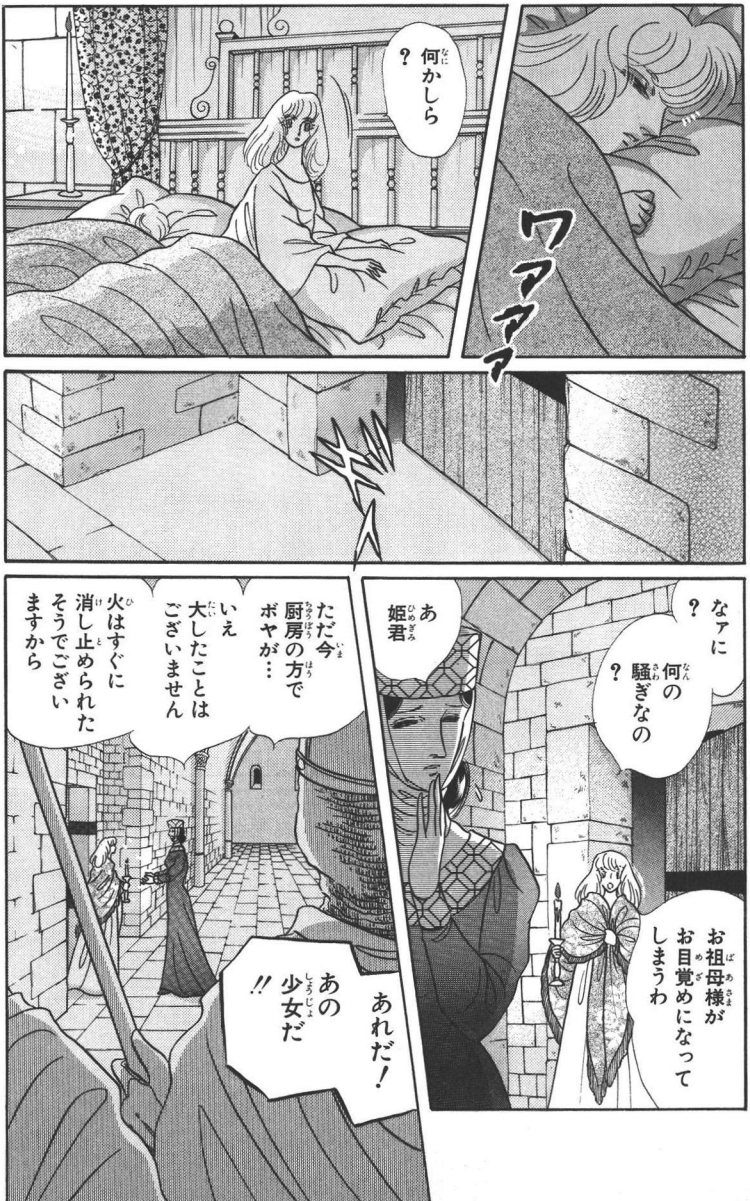

一番奥の宿房に母太后とともにおるそうな


警護の兵士にまぎれろ
相手は一行の中でただ一人の子供だ
今度は仕損じるな！


ああ
もうよいブランカ
はい


明日はいよいよ山脈を抜けアキテーヌ領じゃ
今宵は早く寝むとしよう
はいお祖母様




何かしら？
ワアア
なァに？
何の騒ぎなの？
お祖母様がお目覚めになってしまうわ
あ姫君
ただ今厨房の方でボヤが…
いえ大したことはございません
火はすぐに消し止められたそうでございますから
あれだ！
あの少女だ!!


どうぞ
ご安心…
なっ…
そなた達は…
何を…


…
ブランカ
？
どうした？
ブラン…
ガタ…
お…
おばあ
…
助け
…
う…
ブランカ？


……っ
ブランカ――ッ
ひっ…
ブランカ
ブランカ
おぬしら
なんということを
ブランシュ姫の
とどめは
刺した
母后は
殺すなの
おおせだった
引き上げる
ぞ
「ブランシュ」
!?
「母后は
殺すな」!?
ま…まさか


あの者らは
誰ぞっ
来て
たもっ
ジョンの
刺客か!?
ブランカが
っ…
やったぞ
ブランシュは
死んだ
これで
英王位は
俺のものだ
ブランカが
…
ジョン
叔父様の
刺客に
殺された!?
…
ブランシュ
あたしと
間違え
られて!?


ジョンめ!
あの大バカ者めが!!
フランスとの同盟ならねばどうなると思っておるのか!?
窮地に陥るは英王位に就く者本人だということがなぜわからぬか!?
その上にブランカを殺害するなど…
あれはカスティリア王国の姫ぞ!?
このことカスティリア側に知れてみよ!
かの王国まで英国の敵となってしまうではないか!!
お祖母様っ


よいか!?ブランシュ!
カスティリア王女ブランカは死んではおらぬ!
ここで死んだはブランシュ・プランタジネットじゃ!!
こうなっては致し方ない!
そなたがブランカとなり仏王家へ嫁ぐのじゃ!!
アリエノールお祖母様!?


カスティリア王国
第3王女
「ブランカ」
フランス名
「ブランシュ」


私と間違われてジョン叔父様の刺客に殺されてしまったブランカ
よいなっ!?
ここで急死したはブランシュ・プランタジネットじゃ!!
そなたは 今よりカスティリア王女ブランカになるのじゃ!!
ブランカの代りに王女になって
あたしがルイと結婚!?
フランス王太子妃に!?
アリエノール お祖母様…!?


英女王(イングランドじょおう)ではなく
仏王妃(フランスおうひ)に――


獅子心王のいない今
あの愚かなジョンに仏王フィリップ・尊厳王が相手では
英王家が仏王家を滅ぼすどころか
逆にこちらが滅ぼされる!!
どうすればよい!?
どうすれば英王家の血を安全に遺せる!?
仏王家を滅ぼせないのなら…
融合させればよい!
内に入って乗っ取ればよい!!
我がアキテーヌの血をもって!!



パリ郊外のサン・ドニ大修道院が「仏王家の菩提寺」と呼ばれるのに対してフォントヴローは「英王家の菩提寺」と呼ばれている。聖堂翼廊下の「王家の霊廟」にはヘンリー2世と王妃アリエノール、三男のリチャード1世、三女のジャンヌとその息子のトゥールーズ伯レイモン7世、末子のジョン欠地王とその王妃イザベル・ダングレーム、ジョン王の息子ヘンリー3世が眠っている。
英国は自国の王達の棺の返還を再三要求していたが、仏側は台座をコンクリートで止めてしまっている。


それでも
ブランシュ様のお命にはかえられないから
なっ…
命!?
ジョン殿下はブランシュ様が生きている限り
英王位を脅かす者としてお命を狙い続けるでしょう
仏王家に嫁ってしまうことはその心配もなくなるってことだから


ポワトォー
フォントヴロー
お着きですわ
アリエノール様がお戻りに
カスティリアの王女様もご一緒です
ワィ
ワィ
ワィ
ワィ
無事戻ったぞリドウィナよ
これが…ブランカじゃ
お帰りなさいませアリエノール様
ようこそ姫君
リドナお祖母…
あっ
はっ…初めまして
大院長様っ


遠路お疲れでございましょうブランカ様
どうぞ結婚式までわずかの間でございますが当院でおくつろぎ下さいませ
…ありがとうございます院長様
…あれがブランカ姫？
まあ！さすがに御従姉妹様だけあって
ピレネーで帰途亡くなられたブランシュ様にお声もお姿もよく似ていらっしゃる!!
きゅるるるん
付け毛
あら！こちらの方がお美しくておしとやかですわよ
本当に！


大聖堂の翼廊へ？
お祖父様であるヘンリー二世陛下と伯父上様であるリチャード一世陛下の
こちらがヘンリー様
そちらが……リチャード様でございます
墓前へごあいさつを――と
父さま…


しばらく一人に
お願いお祖母様
…うむ
いやブランカのいう通りに
ブランシュ…
アリエノール様……
ただし聖堂の出入り口と外回りの警護の兵は増やせ
…はい
ご免なさい父さま母さま
貴方方の娘はこの世からいなくなっちゃった…


あたしもルイが嫌いじゃないし…
ルイと結婚するのは嫌じゃないけど
…でもやっぱりちょっと……
つらくて哀しい…かな
誰か気付いて…
「あたし」という人間が滅えて忘れられていく…
だったらやめればいいだろうが
カイル!?
カイルワーン!?
どこに……
振り向くなブランシュ
そのまま横臥像に伏せてろ
外は兵隊がいっぱいのはず…
…どうやって…
闇があれば影ができれば
俺はどこへでも忍び込める



仏王ルイ9世
1214～1270
通称・聖王ルイ

祖父王フィリップ2世が亡くなりわずか3年後の1226年父王ルイ8世も世を去る。

王位を継いだ時ルイ9世はまだ12歳だった。

母・ブランシュ王妃が幼い王を補佐した。後に第7次(1248～54)第8次(1270)十字軍に出征したルイ9世の留守をまもりフランスを見事に統治したのも彼女である。

ルイ9世は2度目の十字軍の折、ペストにかかり、チュニスで没した。教会は彼を聖人に列し（歴代仏王で唯一人）その名を讃えた。


行けない…
このまま
ブランカの想いを
置いたままじゃ…
ブランカは
ねェ
あたしの
身代わりで
殺されたの
彼女 すごく
フランスへ
嫁たがってた
ねェ
ブランシュ
パリって
どんな所?
ルイ王太子って
どんな人?
フランス
王太子との
結婚を
望んでた


貴女の
お話から
すると
きっと
ずっと
ルイに
恋してた
お会いして
みたいわ
とっても
優しくて
いい方ね
そのルイの
花嫁に決って
幸せの絶頂の中で
フランスへの路を
急いでいた
はずなのに
なのに
あたしと
間違われて
何も
してない
のに
何も
わからないまま
殺されて
しまった
なんて…
ブランカ
同じ血の
従姉
それが
さぞかし
悔しく
空しかった
だろうって
そして
初めての
友だち
あたしにも
よく
わかるから
……


それで
おまえが
ブランカ姫に
なって
ルイと
結婚して
やるってか
!?
なぜだ
っ!?
おまえは
ブランカ姫のような
結婚はしたくないと…
世継ぎを
産んで
……
仏王太子に
嫁いで
やがて
その子は
英邁な
君主となり
勇敢な
騎士と
なり
バレスチナへ
行くんじゃ
なかったのか
!?
おまえの
故郷に！
いいのか!?
結婚なんか
しちまったら
本当に2度と
行けないかも
しれないぞ！
そして
聖地に
向かい


……ブランシュッ!?
えっ…聖地で……
あたしの産んだ子が聖地へ…?
…未来
仏王の聖地遠征はつまり…
十字軍
何…?
今浮かんだ像は…
仏王妃になるということは…仏王の母になること…


レニエ
……

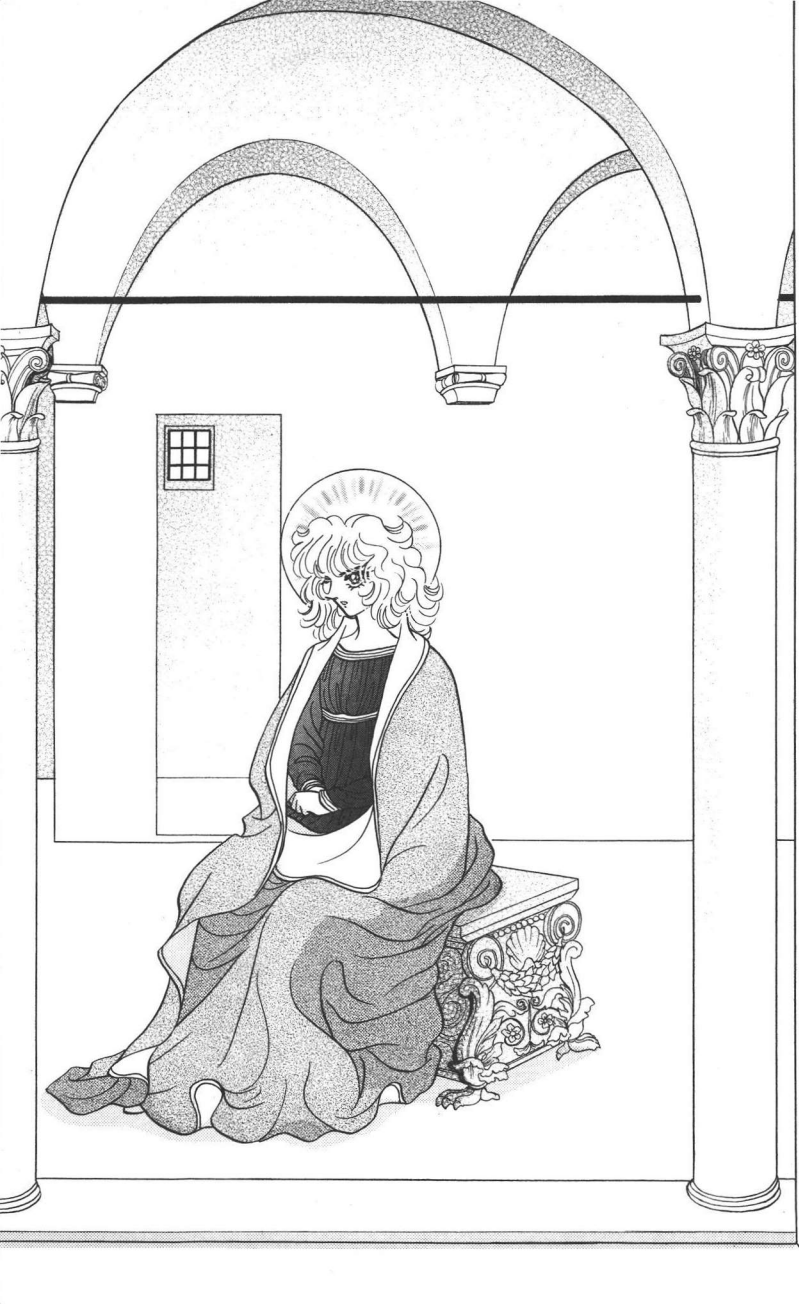

こいつ
……!!
いつの間にここに現れた!?
なぜ俺が気付かなかったんだ!?





その名は永遠になる

「神」とともに——






1200年5月23日
ノルマンディー
ポール・モール
父上…
おおっ!!
よく似合うぞ!!ルイ!
よい男振りだ!

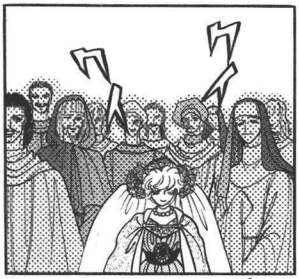

なんだ
暗い顔だな
今日は
そなたの
結婚式だぞ
もっと
晴れやかに
せぬか
父上
〜〜〜
……
ブランシュと
結婚できない
のに…
嬉しく
など
ありま
せん…
…
仕方
あるまい
…
ミレジーヌが
好きだった
死んでしまった
のではな…
だから
彼女の娘が
欲しかった
彼女と
自分の
娘だと
思いたかった
フィリップ
おじしゃま?
リチャードに
殺されてよ
できれば
「父さま」と
父上!
ずるい!!
あの娘が
あの婆の孫
だったのも
たまたま偶然で…


幸い
カスティリアの王女は
名だけでなく
姿もブランシュに
似てるらしいぞ
ミレイの
娘で
なければ
まあ
同じ女の孫だから
おかしくはないがな
誰でも
同じだ…
父上…
ヒュッ

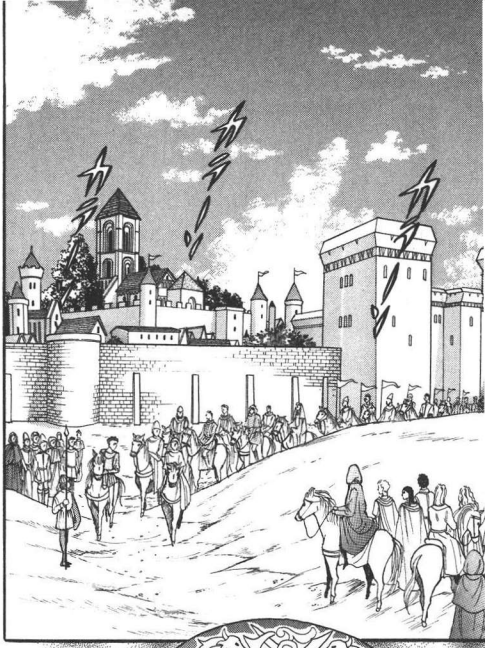

チャリーン
チャリーン
チャリーン!!
金貨!?
これは…
よォ ルイ
カイル ワーン!?


カイル
君 いままで
どこに…
それ
返すぜ
ルイ
受け取って
くれ
返すって
この金貨は
たしか
僕が君から
シリア産の
象牙の腕輪を
買った時に
支払った…
ああ
あんたが
ブランシュに
贈ったヤツの
代金だ
だが
それは
もらえなく
なった
どうして
!?
それじゃ
君が…
ルイ様
コン
コン
花嫁がそろそろ
到着されますよ
お出迎えを


カイル
待てっ…
いいんだ
じゃあ確かに
返したからな
カイルワーン…
…いない…
カイル
……
誰ぞ
いましたか
？
殿下？
いかが
されました？
なぜ…？


ワイ
ワイ


ザワ
ザワ
…
あれが
ブランカ姫…？


カラーン
カラーン


ルイ様
ルイ様
コホン
はやく姫君の手を
見とれてないで
うぅん


初めまして
ようこそブラン…
……
……ホントに
ブランシュにそっくり……


この腕輪は…
これを…
なぜ貴女が…
…君はっ
あの瞳の色は
姿じゃなくミレジーヌと同じ…
あれは…
ブランシュか!!


そろそろ
ブランシュ達の
結婚式が始まる
頃であろうか？
さぞかし
美しかろうな
本当に
よろしかったの
ございますか？
アリエノール様
お式にご出席
なさらず…
それはそなたも
同様であろうが
リドウィナ

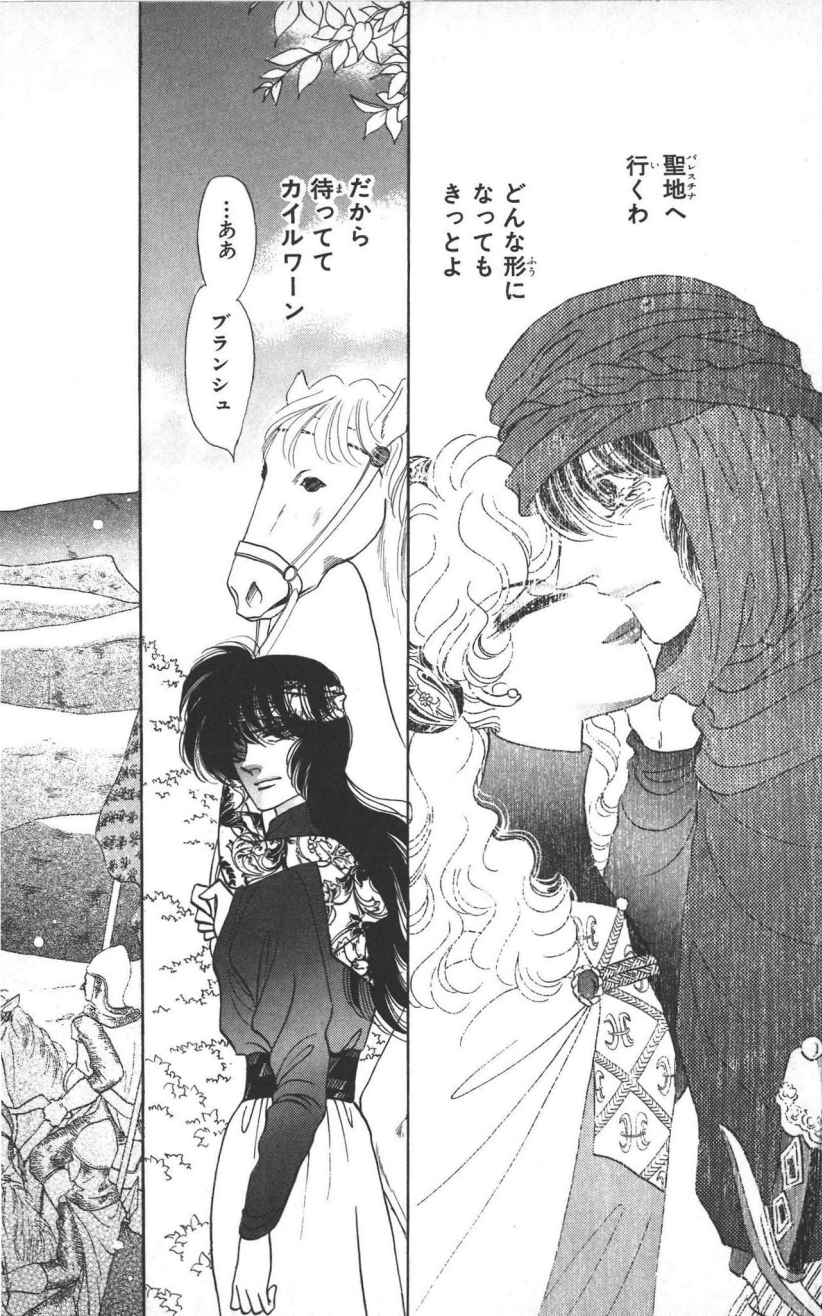
これでよい
これでこの将来
フランスの地より
英国領の一斉が
失われようと
プランタジネットと
アキテーヌの血が
滅っすることは
決してない
そなた故に
「プランシュ
王妃」よ


「…俺が贈ったんだ」
「その腕輪は俺がブランシュに贈ったんだ」
「ルイあんたじゃない」
そういうことか!?カイルワーン
…そういうことさ
ルイ・カペー


これくらいは
赦してもらうぜ
あんたは実際
ブランシュを
手に入れるん
だから
カラ…
カラ…
どうやら あたしは
あたしの使命を
果たさなきゃ
ならないみたい
おまえ
それが終わるまで
待てる？
カイル


まあ！
なんて
美しい!!
それは
いかがなされた
のですか？
陛下
此度の
十字軍
自分の代りに
東方へ伴って
くれ…と
母上に
頼まれた
品だ


義母上様
ブランシュ王妃様が？
父上のルイ8世陛下よりご結婚前贈られたとおっしゃっていらしたが…
陛下
ルイ9世様
コツ
コツ
そろそろエジプトのダミエッタ沖でございますが
うむ
わかった
ではマルグリット
我が王妃よ
参ろうか
陛下
はい
…行くわ


聖地(パレスチナ)へ
行(い)くわ
どんな形(ふう)に
なっても
きっとよ
だから
待(ま)ってて
カイルワーン
…ああ
ブランシュ



絶対会うわ

今度はおまえに一番に――

花巡礼 3／おわり



《収録作品メモ》
●花巡礼③　平成10年　花とゆめ12～17号掲載

花とゆめCOMICS
花巡礼③

1998年11月25日　第1刷発行

著者　河惣益巳
©Masumi Kawasou 1998
発行人　甘利博正

発行所　株式会社　白泉社

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2－2－2
電話・編集 03(3526)8025
販売 03(3526)8010
業務 03(3526)8020

印刷所　廣済堂印刷株式会社

ISBN4-592-12890-7

Printed in Japan HAKUSENSHA

乱丁・落丁本が万一ございましたら、小社業務課宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。
本書の一部または全部を無断で複製、転載、上演、放送などをすることは、著作権法上での例外を除いて禁じられています。



花とゆめCOMICS





発行・白泉社


9784592128908

ISBN4-592-12890-7

C9979 ¥390E

1929979003906

定価 本体390円＋税

雑誌43758－73



花とゆめCOMICS

▶収録作品◀

英国王である父を失い、激変するブランシュの運命…。様々な思惑が渦巻く中、突如失踪していた祖父と共に現れた謎の少年・カイルワーン。彼の正体は!?　華麗なる中世ロマン「花巡礼」第三部ブランシュ編を収録した最終巻!!

■花とゆめ掲載■

白泉社